

水俣市民意識調査（アンケート）

集計結果報告書

慶應義塾大学 環境情報学部

准教授 植原 啓介

1 アンケートの趣旨

本アンケートは、「知」の連携を進め、新しい価値を創造し、まちづくり及び教育・研究活動の発展を図ることを目的に、平成27年2月に水俣市と慶應義塾大学との間で締結した連携・協力に関する協定に基づき、水俣市及び九州大学工学研究院都市システム工学講座馬奈木主幹教授の協力の下に実施したものです。

2 実施内容

- ・ 一般的な市民の意識調査（住みやすさ、交通の便、家庭行事、食事など）
- ・ 一般的な健康・福祉に関する調査（健康増進意識、子育てのしやすさなど）
- ・ 教育に関する調査（塾通い、課外活動、通学時間など）
- ・ 産業に関する調査（産業誘致など）
- ・ 防災・防犯に関する調査（避難所の認識、避難袋の準備状況など）
- ・ 環境に関する調査（環境意識、ゴミの量、ゴミ分別の負担など）

3 実施主体 慶應義塾大学環境情報学部 植原研究室

4 協力機関 水俣市・九州大学

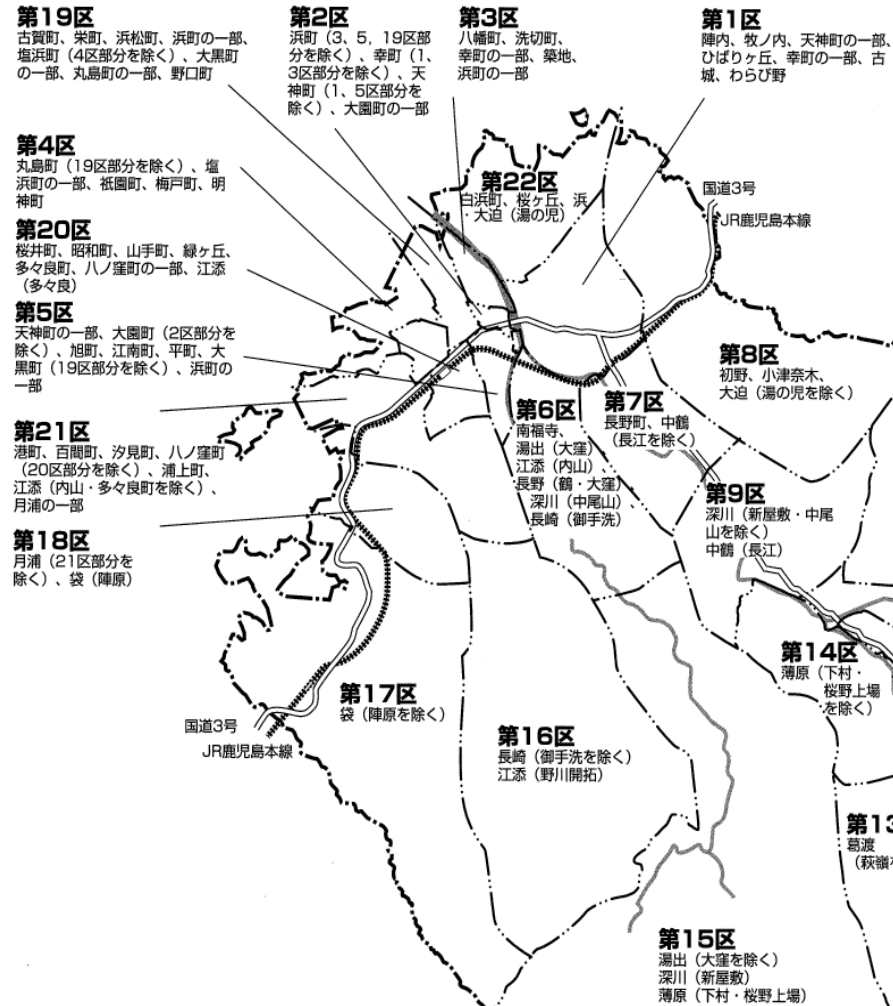
5 調査時期 平成28年12月～平成29年1月31日

6 調査対象 全戸調査（11,891世帯）

7 回収数 4,222世帯

8 回収率 36%

図 地区割り



(アンケート上の地域区分)

市街地: 1区、2区、3区、4区、5区、19区、20区、21区、22区

中間地: 6区、7区、8区、17区、18区

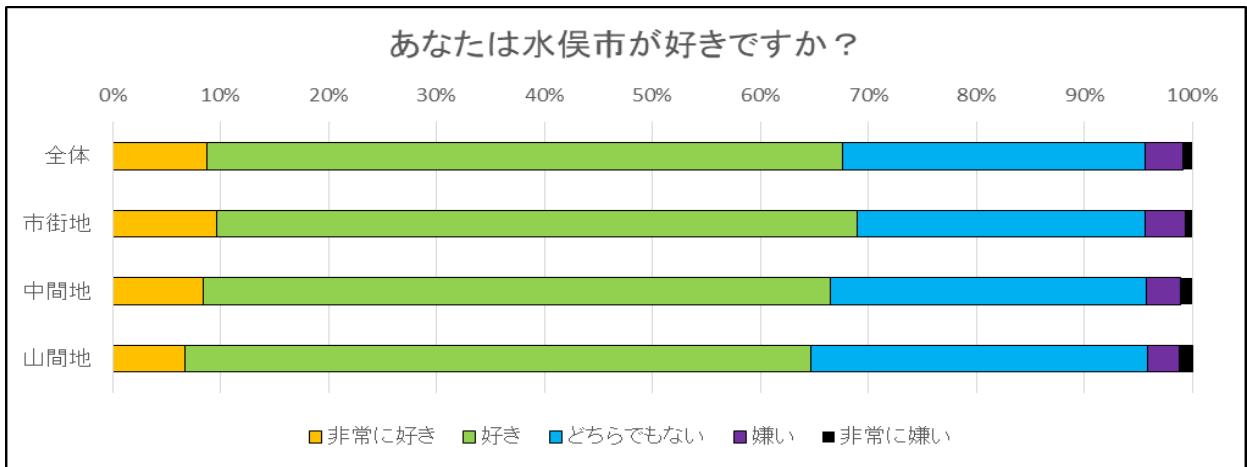
山間地: 9区、10区、11区、12区、13区、14区、15区、16区、23区、24区、25区、26区



0 250 500 1000 2000 3000m

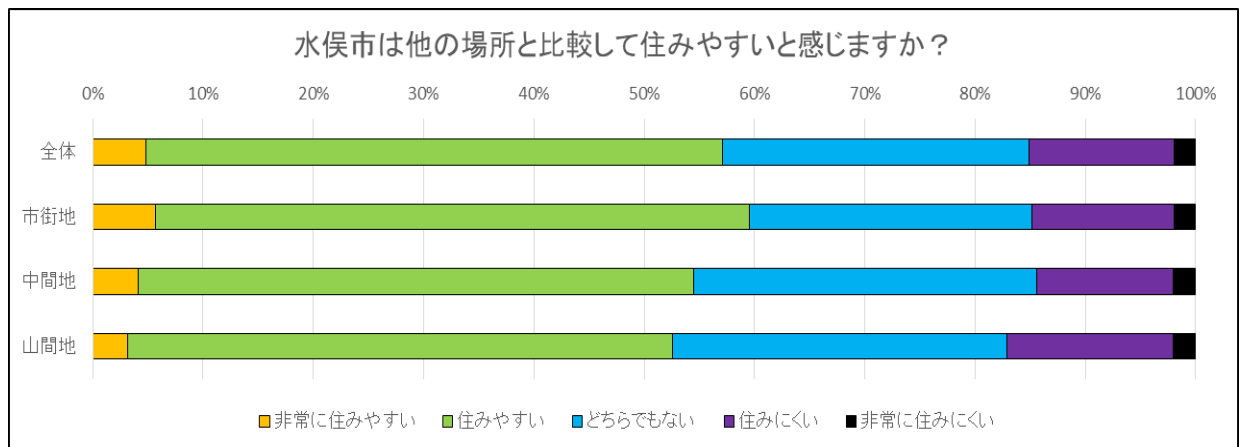
質問

1 あなたは水俣市が好きですか？



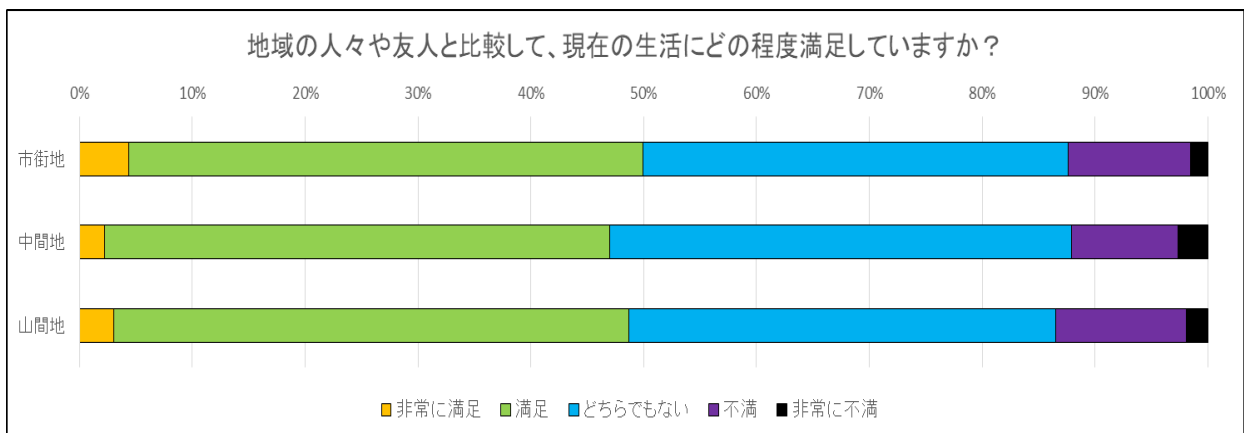
全体の67.6%の世帯が、水俣市のことを「非常に好き」又は「好き」と感じており、山間地よりも市街地の方がその傾向が若干高い結果となりました。一方、「嫌い」「非常に嫌い」と答えた世帯は全体の4.4%でした。

2 水俣市は他の場所と比較して住みやすいと感じますか？



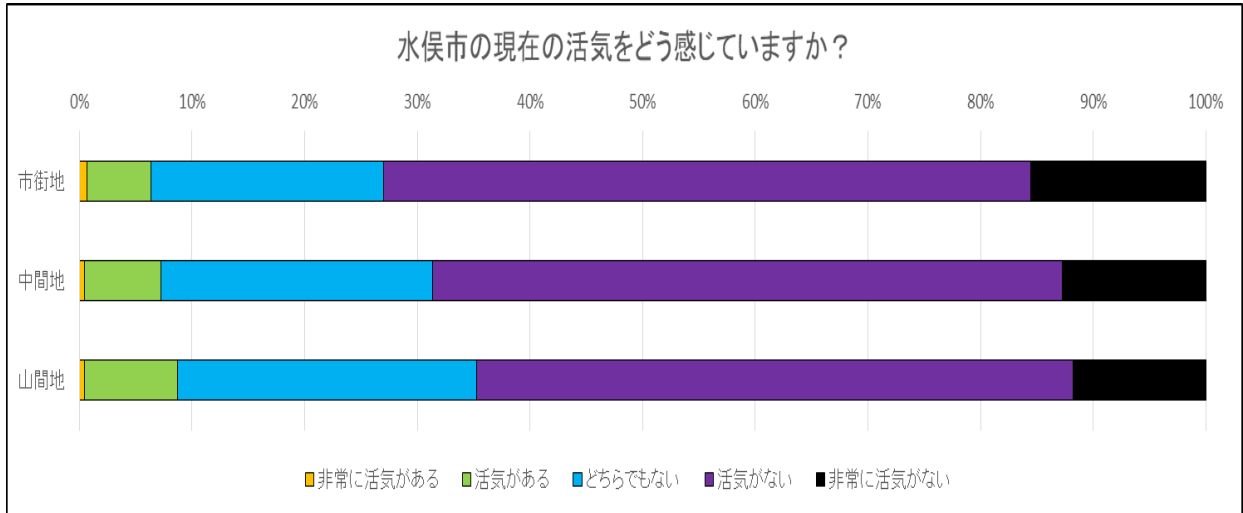
全体の57.1%の世帯が、「非常に住みやすい」「住みやすい」と感じており、山間地よりも市街地の方がその傾向が高い結果となりました。一方、「住みにくい」「非常に住みにくい」と答えたのは全体の15.1%で、市街地よりも山間地の方がその傾向が若干高い結果となりました。

3 地域の人々や友人と比較して、現在の生活にどの程度満足していますか？



ほぼ半数の世帯が現在の生活に満足していると答えており、全体の38.5%の世帯が「どちらでもない」、12.5%の世帯が「不満」「非常に不満」という結果でした。

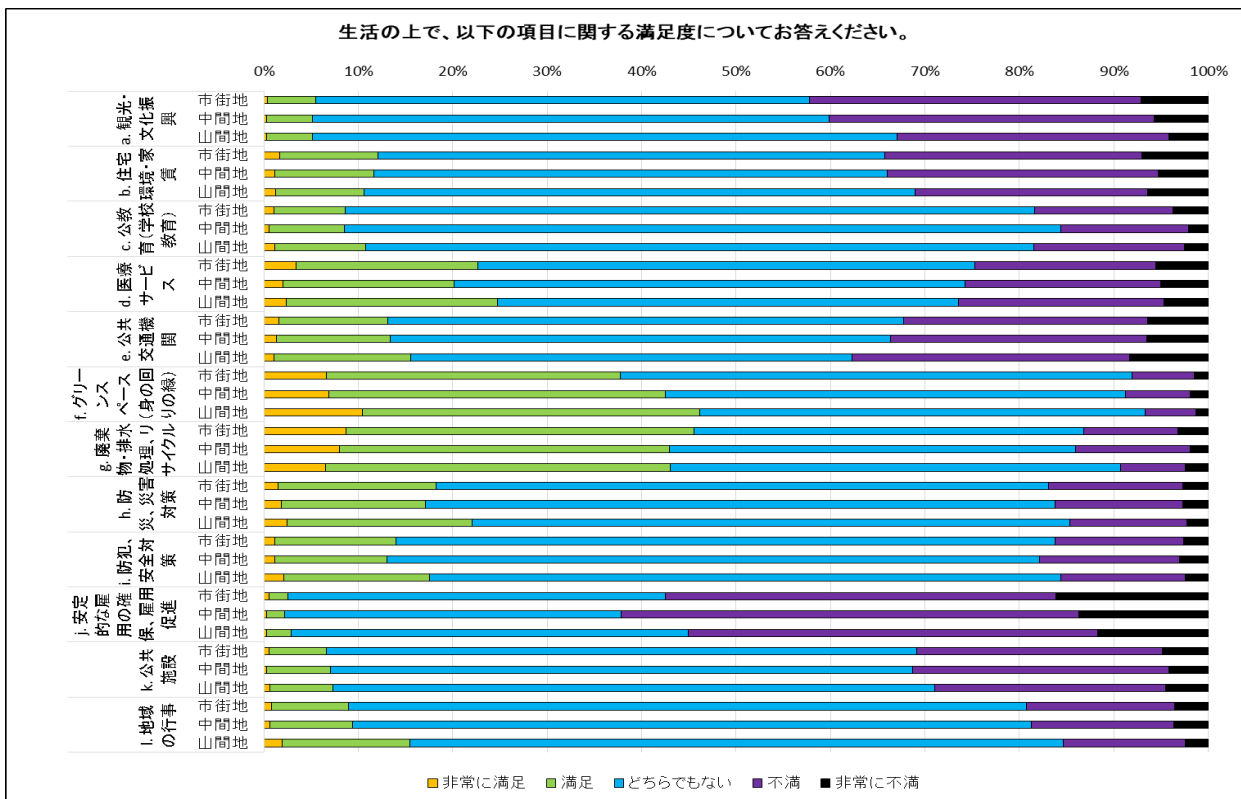
4 水俣市の現在の活気をどう感じていますか？



「非常に活気がある」「活気がある」と答えたのは全体の約7%であり、約70%の世帯が「活気がない」「非常に活気がない」と感じているという結果でした。

5 生活の上で、以下の項目に関する満足度についてお答えください。

- 観光・文化振興
- 住宅環境・家賃
- 公教育(学校教育)
- 医療サービス
- 公共交通機関
- グリーンスペース(身の回りの緑)
- 廃棄物・排水処理、リサイクル
- 防災、災害対策
- 防犯、安全対策
- 安定的な雇用の確保、雇用促進
- 公共施設
- 地域の行事



(観光・文化振興)

「非常に満足」「満足」と答えたのは全体の5.4%であり、40.2%の世帯が「不満」「非常に不満」と感じているという結果でした。「どちらでもない」という世帯は全体の54.4%でした。

(住宅環境・家賃)

「非常に満足」「満足」と答えたのは全体の11.7%であり、33.7%の世帯が「不満」「非常に不満」と感じているという結果でした。「どちらでもない」という世帯は全体の54.6%でした。

(公教育(学校教育))

「非常に満足」「満足」と答えたのは全体の8.9%であり、11.7%の世帯が「不満」「非常に不満」と感じているという結果でした。「どちらでもない」という世帯は全体の73.3%でした。

(医療サービス)

「非常に満足」「満足」と答えたのは全体の22.4%であり、25.3%の世帯が「不満」「非常に不満」と感じているという結果でした。「どちらでもない」という世帯は全体の52.3%でした。

(公共交通機関)

「非常に満足」「満足」と答えたのは全体の13.6%であり、33.5%の世帯が「不満」「非常に不満」と感じているという結果でした。「どちらでもない」という世帯は全体の52.9%でした。また、山間地ほど不満と感じている世帯の比率が高い傾向がありました。

(グリーンスペース(身の回りの緑))

「非常に満足」「満足」と答えたのは全体の40.3%であり、8%の世帯が「不満」「非常に不満」と感じているという結果でした。「どちらでもない」という世帯は全体の51.7%でした。

(廃棄物・排水処理、リサイクル)

「非常に満足」「満足」と答えたのは全体の44.5%であり、12.8%の世帯が「不満」「非常に不満」と感じているという結果でした。「どちらでもない」という世帯は全体の42.7%でした。

(防災、災害対策)

「非常に満足」「満足」と答えたのは全体の18.5%であり、16.4%の世帯が「不満」「非常に不満」と感じているという結果でした。「どちらでもない」という世帯は全体の65.1%でした。

(防犯、安全対策)

「非常に満足」「満足」と答えたのは全体の14.3%であり、16.5%の世帯が「不満」「非常に不満」と感じているという結果でした。「どちらでもない」という世帯は全体の69.1%でした。

(安定的な雇用の確保、雇用促進)

「非常に満足」「満足」と答えたのは全体の2.5%であり、58.3%の世帯が「不満」「非常に不満」と感じているという結果でした。「どちらでもない」という世帯は全体の39.3%でした。

(公共施設)

「非常に満足」「満足」と答えたのは全体の6.9%であり、30.7%の世帯が「不満」「非常に不満」と感じているという結果でした。「どちらでもない」という世帯は全体の62.5%でした。

(地域の行事)

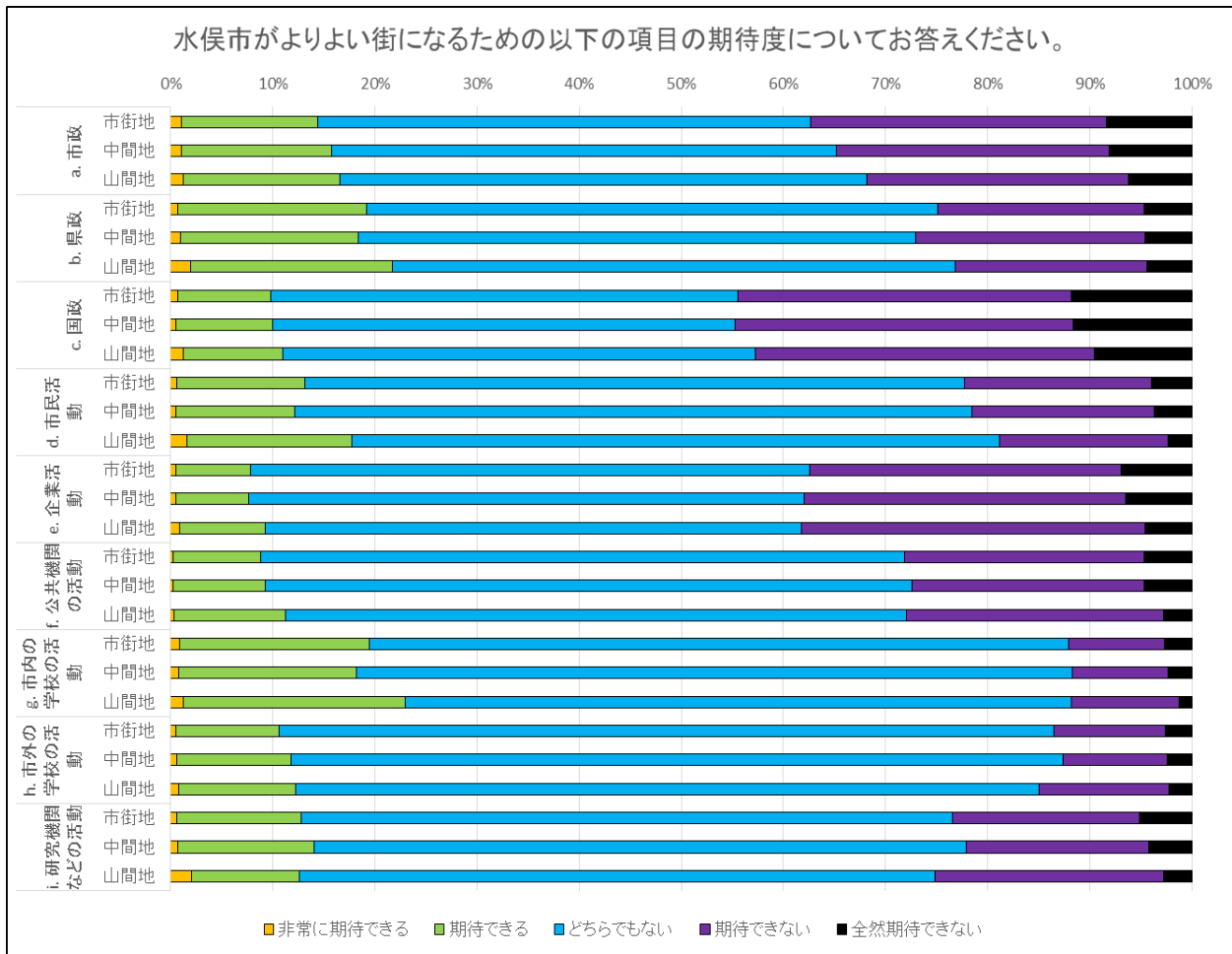
「非常に満足」「満足」と答えたのは全体の10.2%であり、18.5%の世帯が「不満」「非常に不満」と感じているという結果でした。「どちらでもない」という世帯は全体の71.3%でした。

【総評】

ほぼ半数以上の世帯が「どちらでもない」と答えている中で、自然環境、ごみ処理等に対する満足度は比較的高く、観光・文化振興、住環境、雇用環境等に対する満足度が比較的低かったことから、環境面での取組については一定の評価がされている一方、観光、住環境、経済面での取組についての評価が低いことがうかがえます。

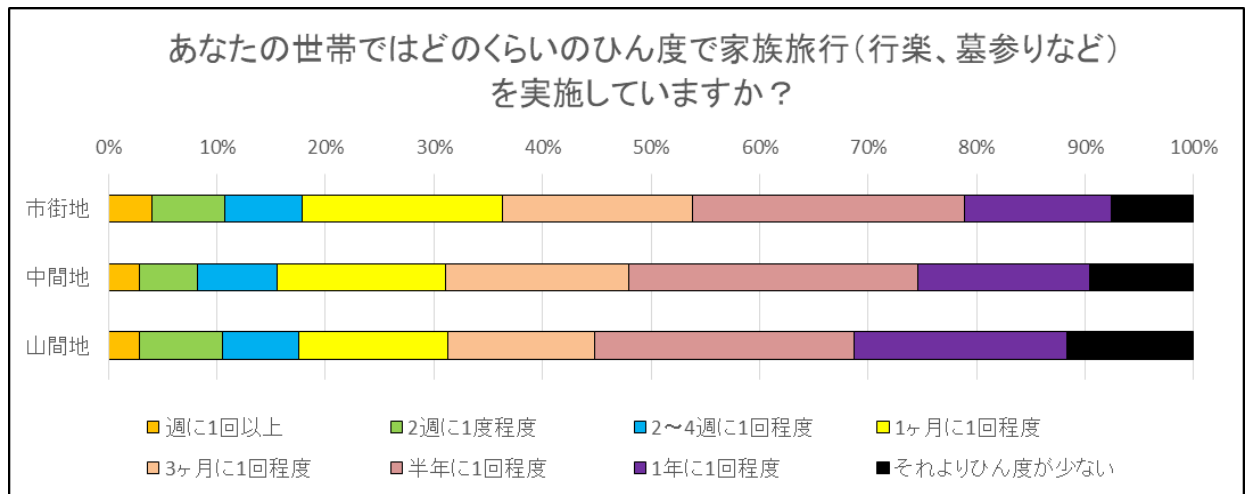
6 水俣市がよりよい街になるための以下の項目の期待度についてお答えください。

- a. 市政
- b. 県政
- c. 国政
- d. 市民活動
- e. 企業活動
- f. 公共機関の活動
- g. 市内の学校の活動
- h. 市外の学校の活動
- i. 研究機関などの活動



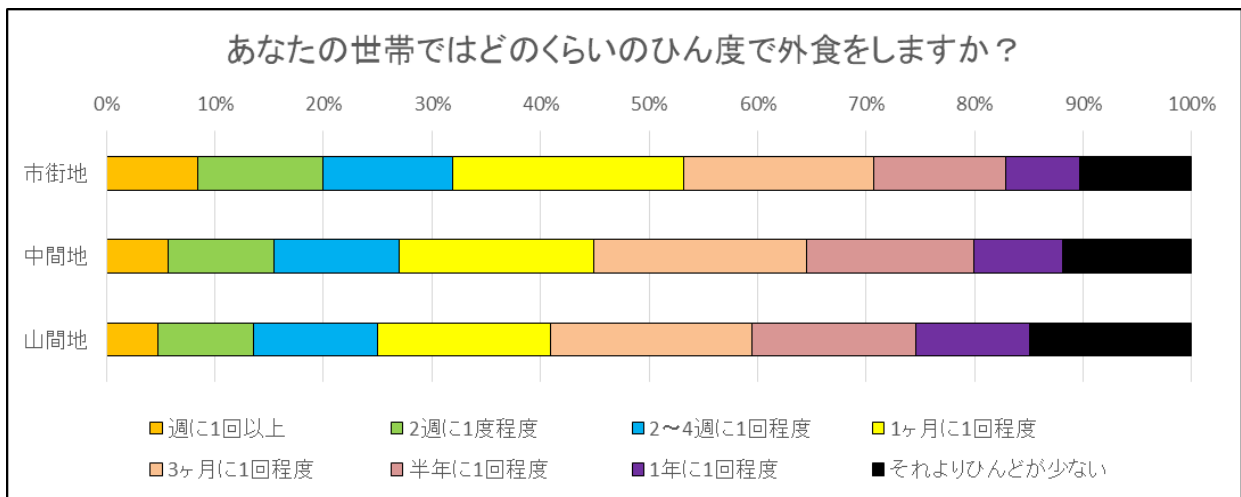
「非常に期待できる」「期待できる」と答えた世帯が最も多かった項目は、「市内の学校の活動」で、全体の19.8%でした。全項目中、「市内の学校の活動」のみ、「非常に期待できる」「期待できる」の比率が、「期待できない」「全然期待できない」の比率を上回っていることから、市内の教育機関(小・中・高校)へ寄せる期待が、他の項目と比べて高いことがうかがえます。

7 あなたの世帯ではどのくらいのひん度で家族行事(行楽、墓参りなど)を実施していますか？



各地域とも、「半年に1回程度」が最も多い結果でした。次に多かったのが、市街地では「1ヶ月に1回程度」、中間地では「3ヶ月に1回程度」、山間地では「1年に1回程度」となっており、地域により異なる結果となりました。全体的に山間地より市街地の方が、その頻度が高いことがわかります。

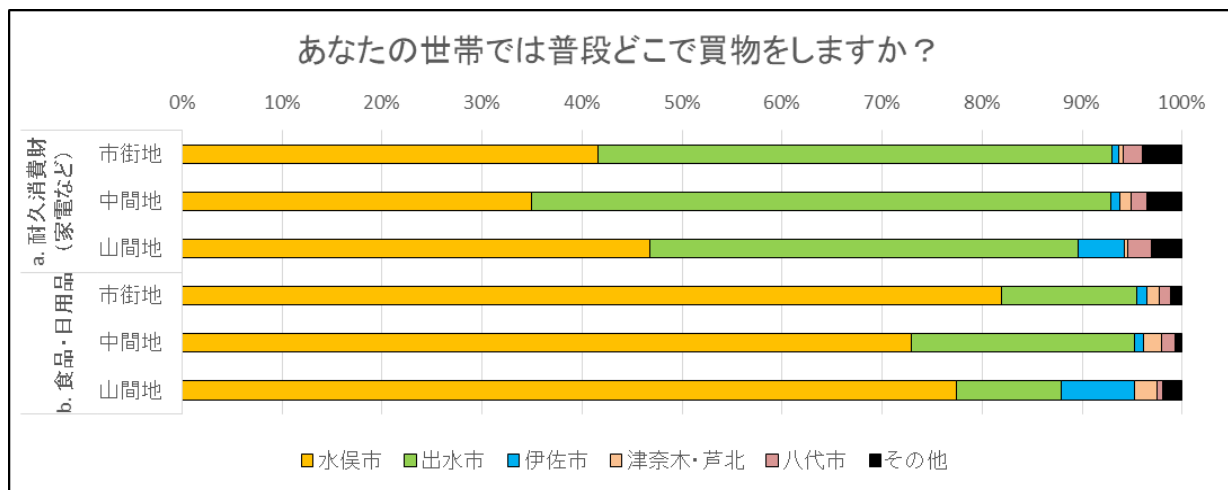
8 あなたの世帯ではどのくらいのひん度で外食をしますか？



市街地では「1ヶ月に1回程度」、中間地及び山間地では「3ヶ月に1回程度」のひん度で外食をすると答えた世帯が最も多い結果となりました。全体的に、山間地より市街地の方が、その頻度が高いことがわかります。

9 あなたの世帯では普段どこで買物をしますか？

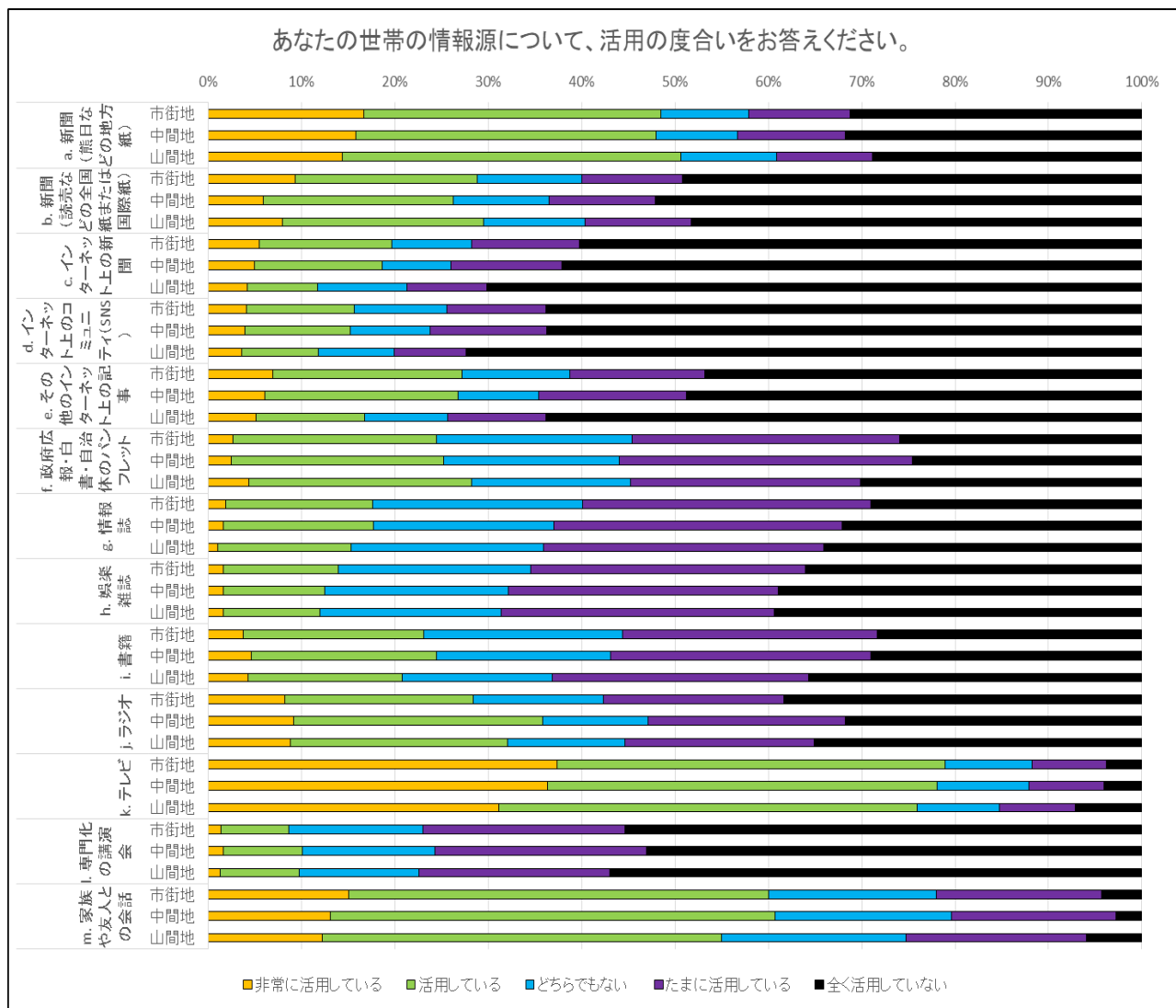
- a. 耐久消費財(家電など)
- b. 食品・日用品



耐久消費財については、市街地と中間地では「出水市」で買物をする世帯が「水俣市」で買物をする世帯よりも多い結果となりました。食品・日用品については、水俣市内で買物をする世帯が最も多い結果となりました。

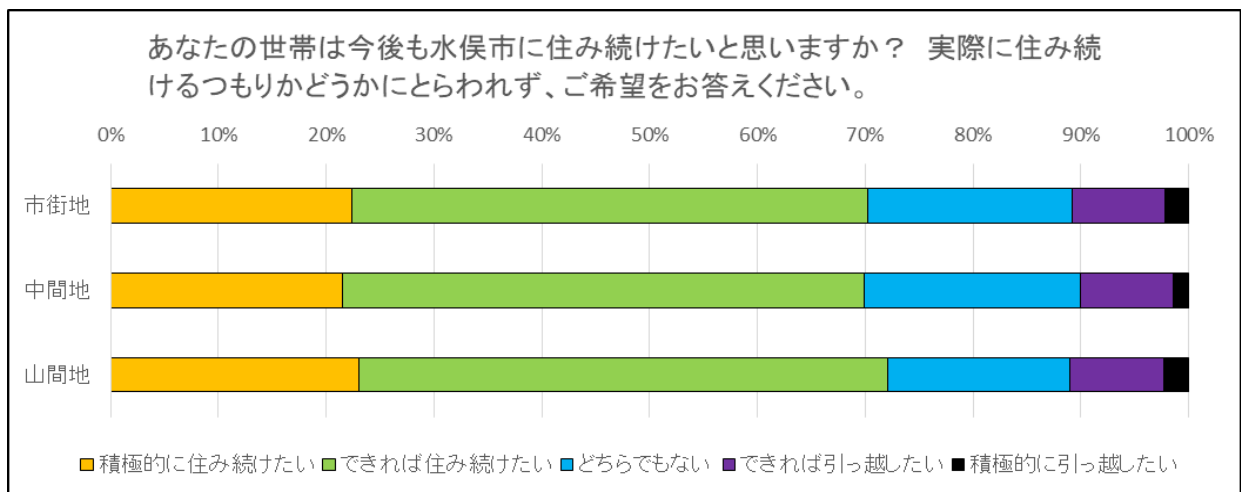
10 あなたの世帯の情報源について、活用の度合いをお答えください。

- a. 新聞(熊日などの地方紙)
- b. 新聞(読売などの全国紙または国際紙)
- c. インターネット上の新聞
- d. インターネット上のコミュニティ(SNS)
- e. その他のインターネット上の記事
- f. 政府広報・白書・自治体のパンフレット
- g. 情報誌
- h. 娯楽雑誌
- i. 書籍
- j. ラジオ
- k. テレビ
- l. 専門化の講演会
- m. 家族や友人との会話



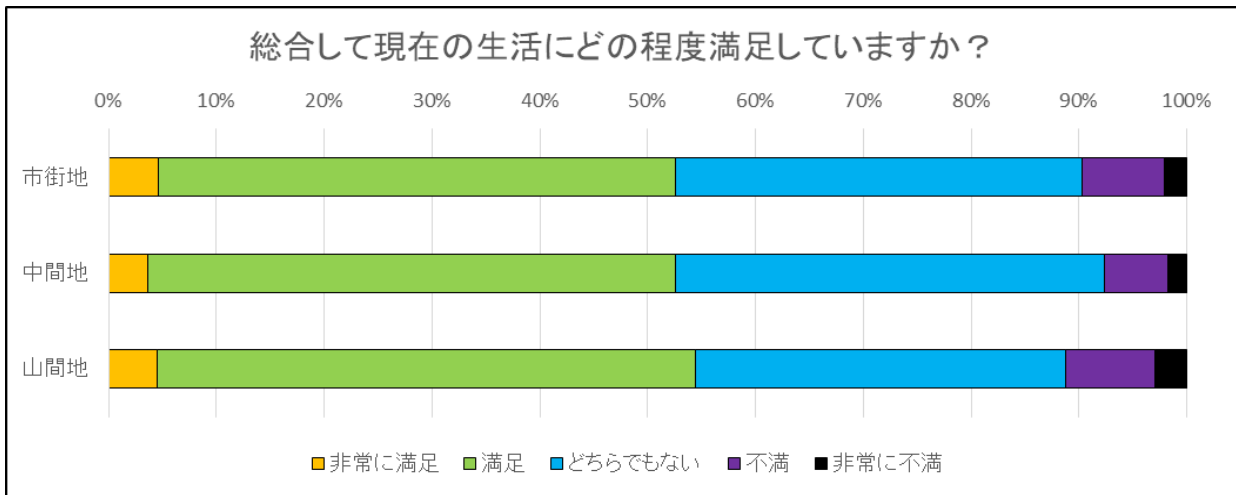
「テレビ」を情報源として「非常に活用している」「活用している」と回答した世帯が78.2%と最も多く、次いで「家族や友人との会話」が59.3%、「新聞(地方紙)」が48.7%という結果でした。

11 あなたの世帯は今後も水俣市に住み続けたいと思いますか？ 実際に住み続けるつもりかどうかにとらわれず、ご希望をお答えください。



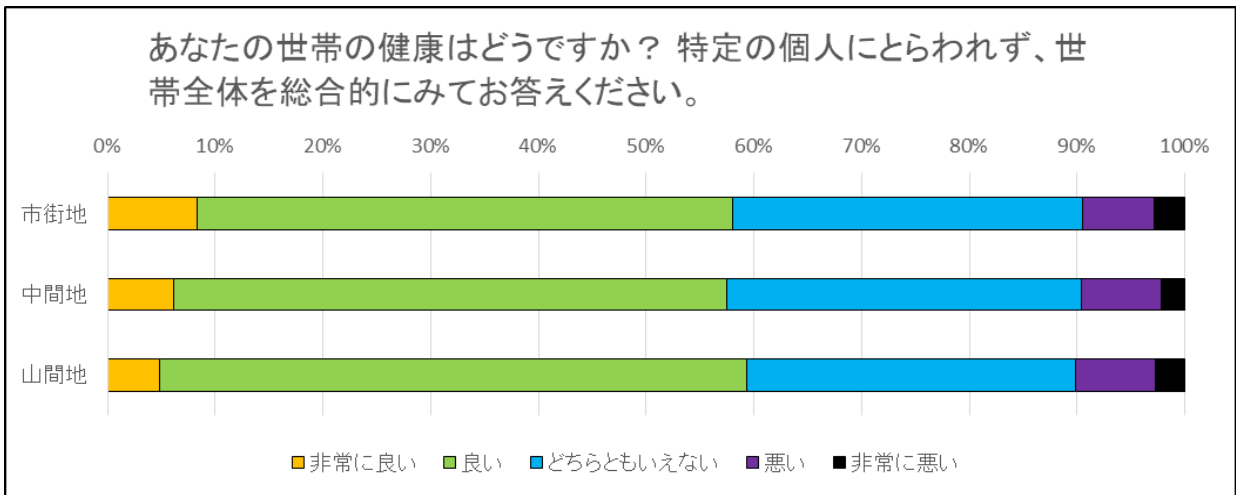
市街地の70.2%、中間地の70%、山間地の72.1%の世帯が「積極的に住み続けたい」「できれば住み続けたい」と思っている結果となりました。

12 総合して現在の生活にどの程度満足していますか？



全体の52.9%の世帯が、総合して現在の生活に満足している結果となりました。一方、「不満」「非常に不満」という世帯は9.4%でした。「どちらでもない」という世帯は37.7%でした。

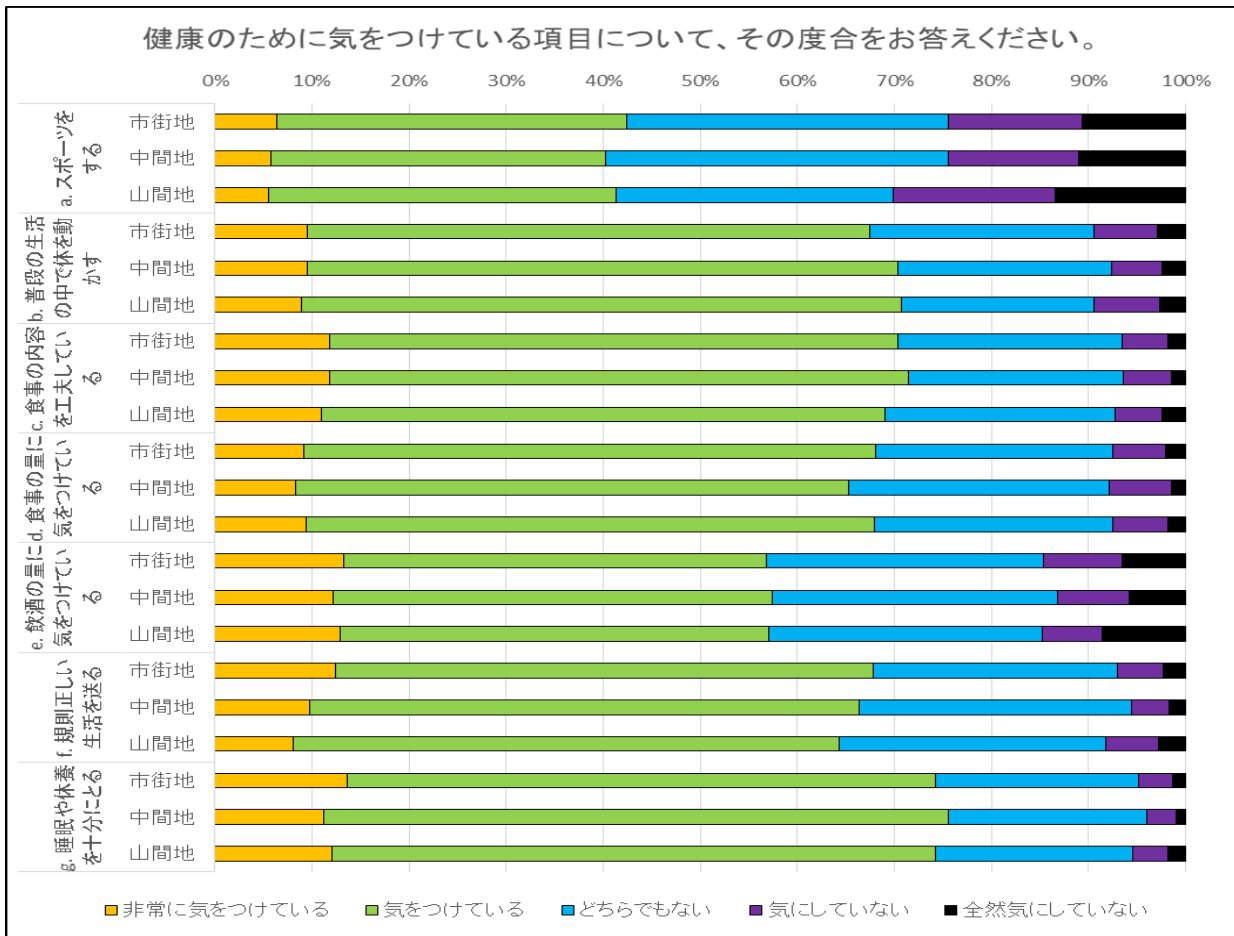
13 あなたの世帯の健康はどうか？ 特定の個人にとらわれず、世帯全体を総合的にみてお答えください。



全体の58.1%の世帯が、世帯全体の健康状態が「非常に良い」「良い」と感じている結果となりました。一方、「悪い」「非常に悪い」と感じている世帯は9.6%でした。「どちらでもない」という世帯は32.3%でした。

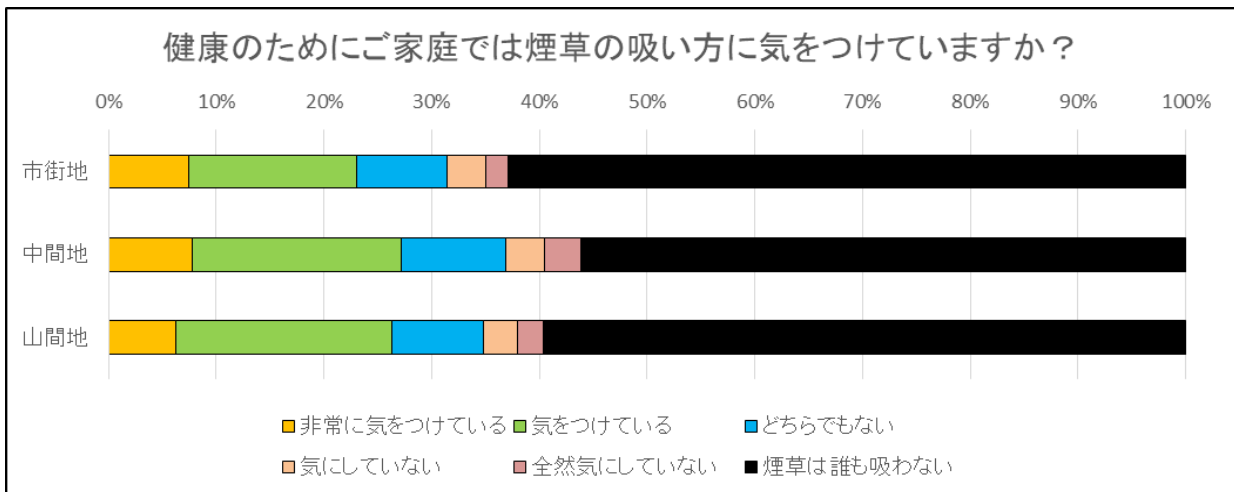
14 健康のために気をつけている項目について、その割合をお答えください。

- スポーツをする
- 普段の生活の中で体を動かす
- 食事の内容を工夫している
- 食事の量に気をつけている
- 飲酒の量に気をつけている
- 規則正しい生活を送る
- 睡眠や休養を十分にとる



スポーツと飲酒以外の項目では、70%近い世帯が、健康のために「非常に気をつけている」「気をつけている」という結果でした。中でも、「睡眠・休養」、「食事」、「普段の生活の中での運動」について気をつけている世帯が多い結果となりました。

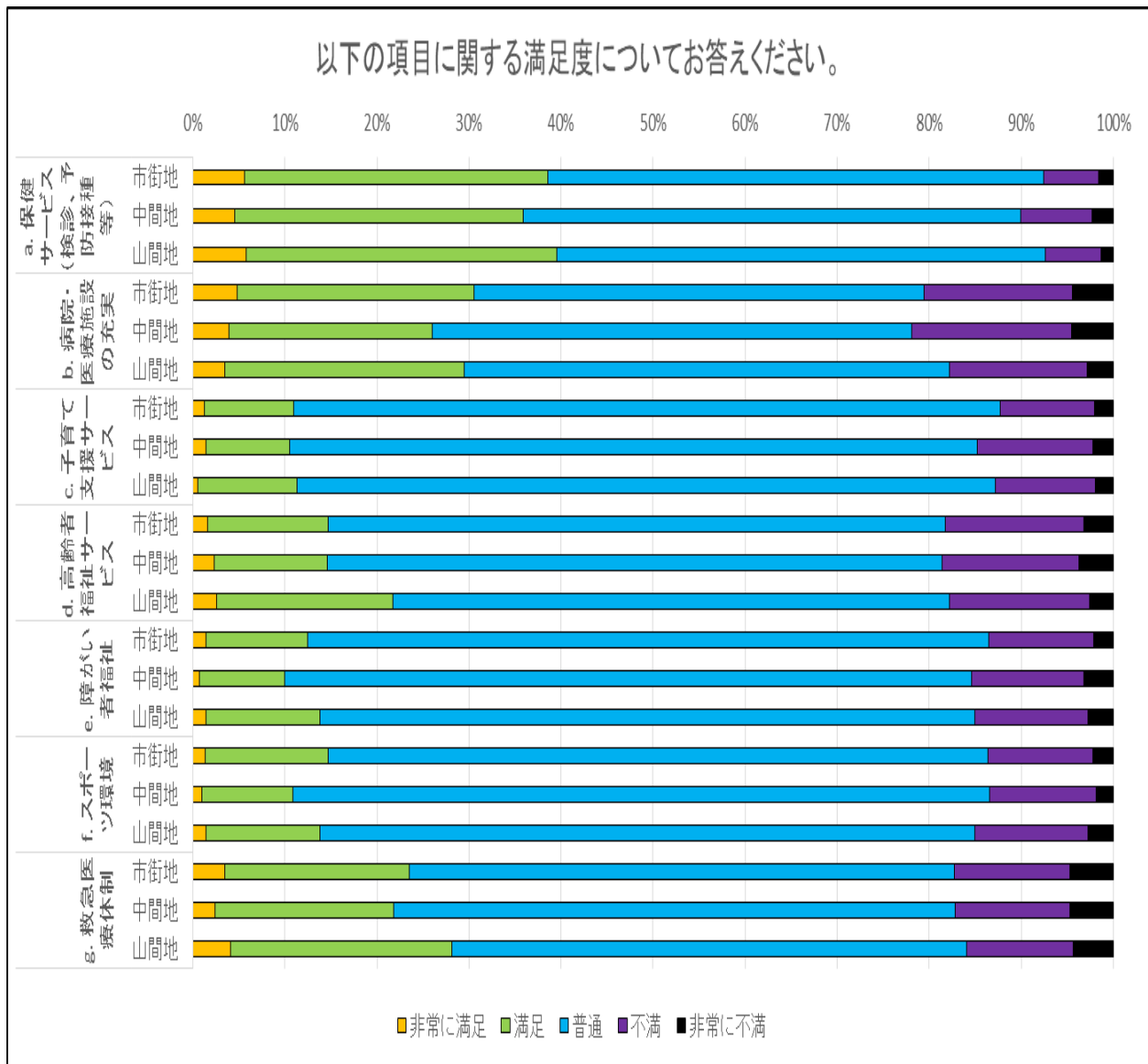
15 健康のためにご家庭では煙草の吸い方に気をつけていますか？



全体の60.6%の世帯は、誰も煙草を吸わないという結果でした。それ以外の世帯（喫煙者のいる世帯）と比較したところ、62.5%の世帯で「非常に気をつけている」「気をつけている」と回答した一方で、15.3%の世帯は「気にしていない」「全く気にしていない」という結果でした。

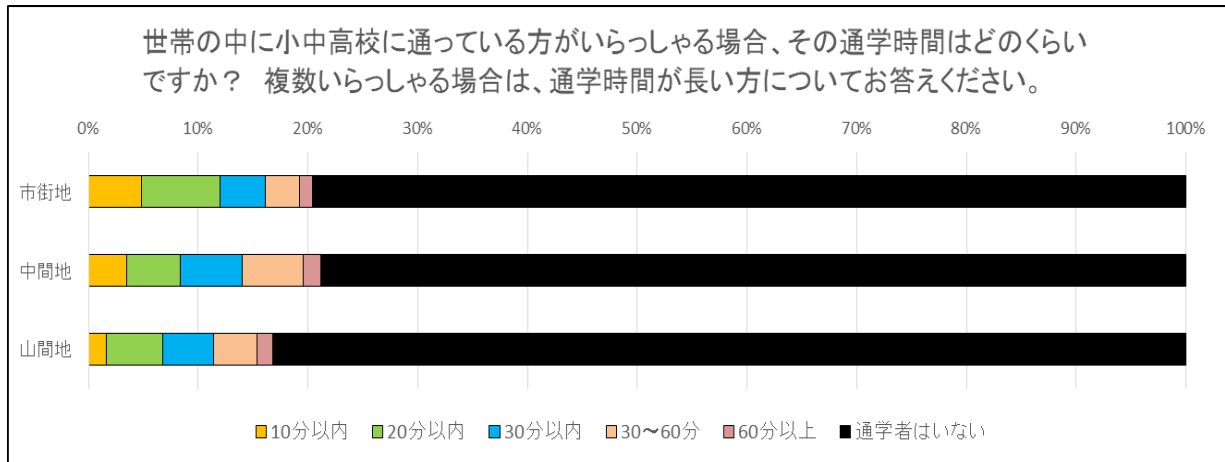
16 以下の項目に関する満足度についてお答えください。

- a. 保健サービス(検診、予防接種等)
- b. 病院・医療施設の充実
- c. 子育て支援サービス
- d. 高齢者福祉サービス
- e. 障がい者福祉
- f. スポーツ環境
- g. 救急医療体制



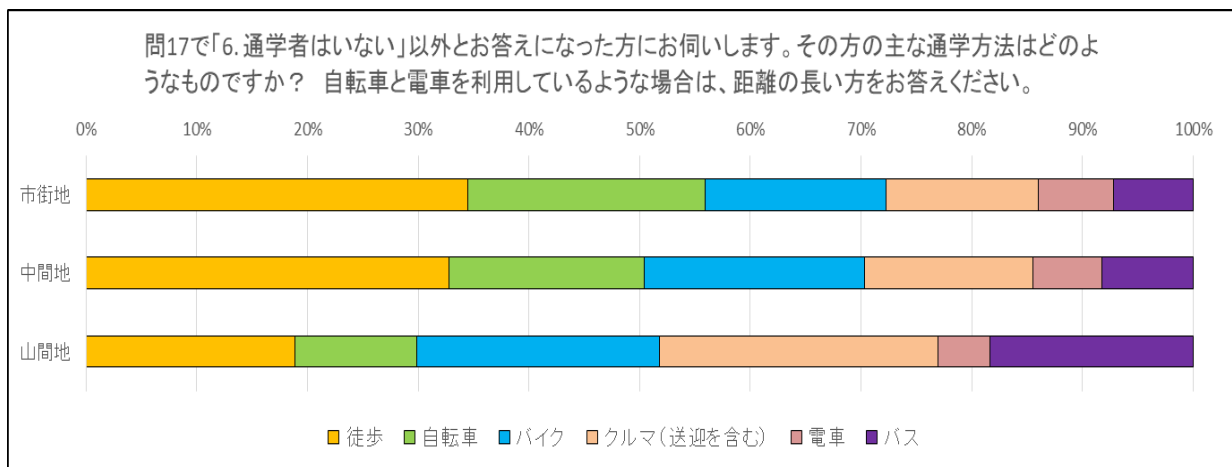
どの項目も半数以上の世帯が「普通」と答えた中、「非常に満足」「満足」と答えた世帯を見ると、保健サービスが38%、病院・医療施設の充実が29.2%、救急医療体制が23.9%と比較的高い結果でした。一方、「不満」「非常に不満」と答えた世帯は、病院・医療施設の充実が20.4%、高齢者福祉サービスが18.3%、救急医療体制が17%という結果でした。全体的に、保健医療体制に満足している世帯は比較的多く、子育て、福祉、スポーツ環境については、満足している世帯が少ないことがうかがえます。

- 17 世帯の中に小中高校に通っている方がいらっしゃる場合、その通学時間はどのくらいですか？ 複数いらっしゃる場合は、通学時間が長い方についてお答えください。



ほとんどの世帯が「通学者はいない」と答えた中、通学者のいる世帯について見てみると、通学時間が、市街地では10分以内、中間地では30分以内、山間地では20分以内の世帯が最も多いという結果でした。

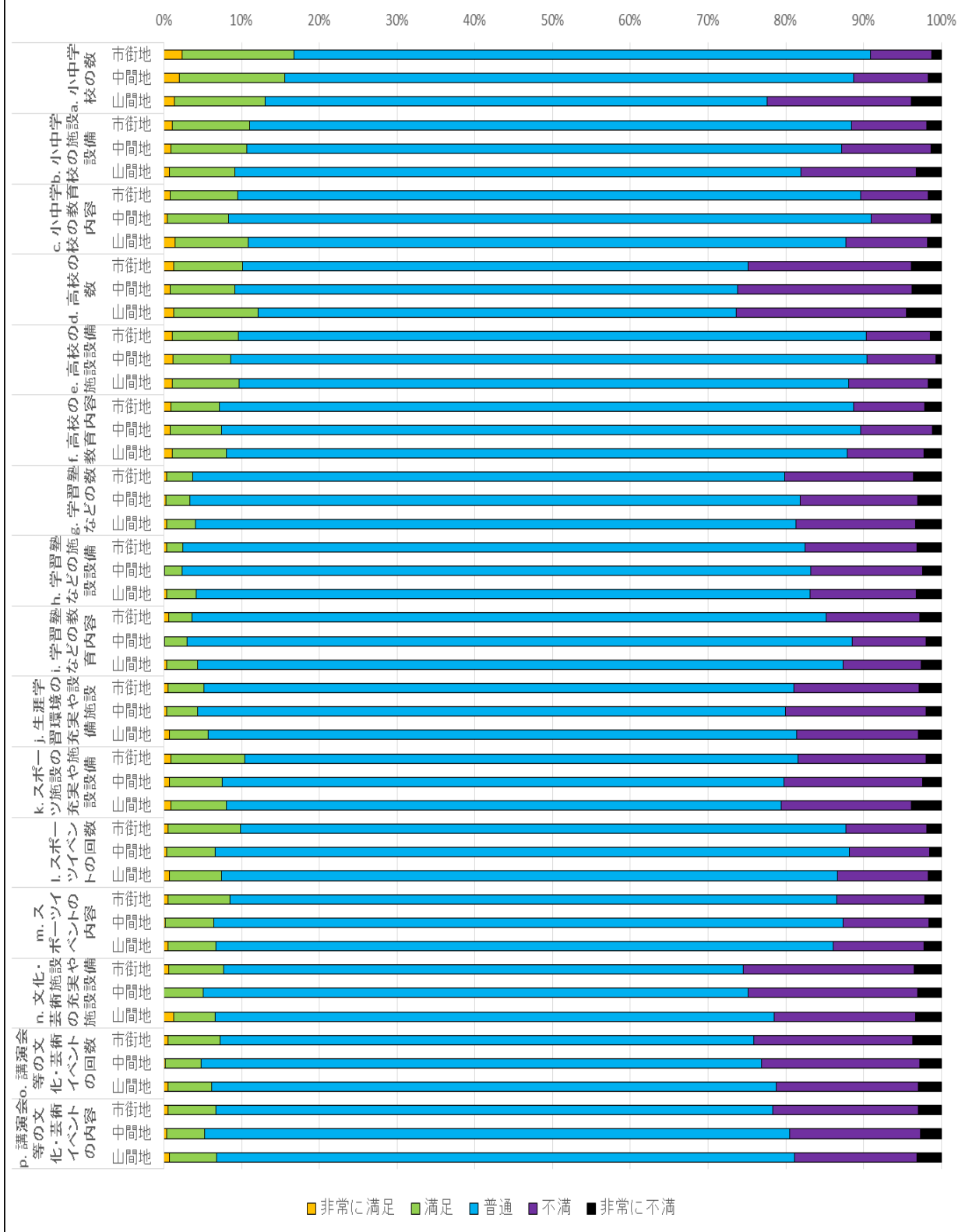
- 18 問17で「6. 通学者はいない」以外とお答えになった方にお伺いします。その方の主な通学方法はどのようなものですか？ 自転車と電車を利用しているような場合は、距離の長い方をお答えください。



市街地と中間地では「徒歩」通学が最も多く、山間地では「クルマ(送迎含む)」が最も多い結果となりました。

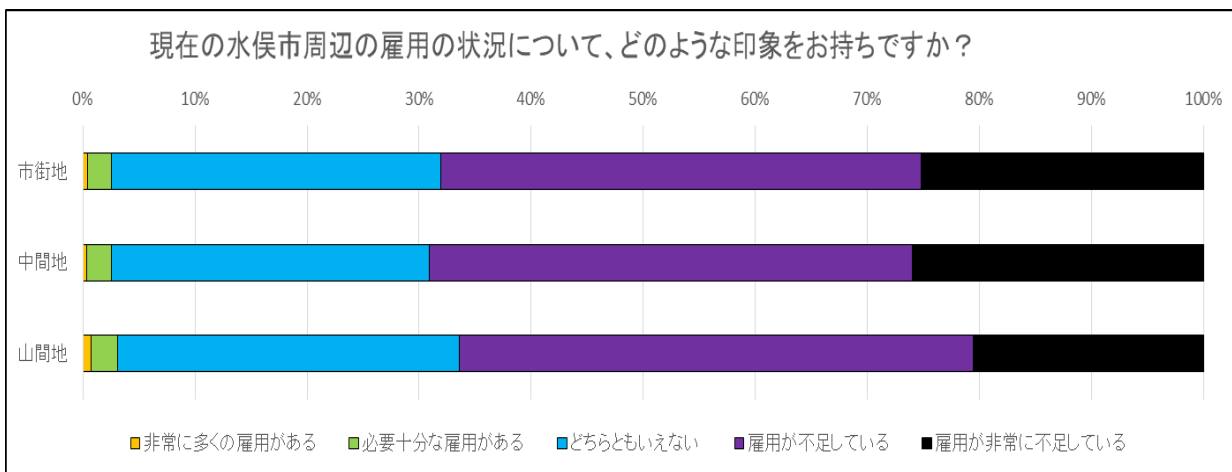
- 19 以下の項目に関する満足度についてお答えください。世帯の中に通学する方がいない場合でも、日常の印象からお答えください。
- 小中学校の数
 - 小中学校の施設設備
 - 小中学校の教育内容
 - 高校の数
 - 高校の施設設備
 - 高校の教育内容
 - 学習塾などの数
 - 学習塾などの施設設備
 - 学習塾などの教育内容
 - 生涯学習環境の充実や設備施設
 - スポーツ施設の充実や施設設備
 - スポーツイベントの回数
 - スポーツイベントの内容
 - 文化・芸術施設の充実や施設設備
 - 講演会等の文化・芸術イベントの回数
 - 講演会等の文化・芸術イベントの内容

以下の項目に関する満足度についてお答えください。世帯の中に通学する方がいない場合でも、日常の印象からお答えください。



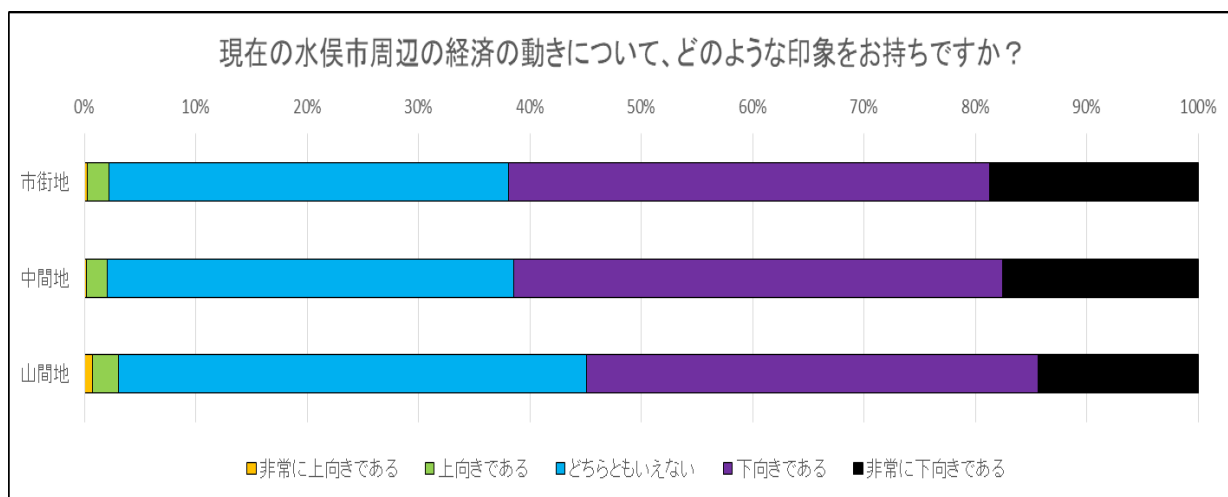
70%から80%の世帯が、ほとんどの項目で「普通」と答えた中、「非常に満足」「満足」と答えた世帯の比率が最も高かった項目は「小中学校の数」で全体の15.9%でしたが、山間地においては、「小中学校の数」に不満を感じている世帯が他の地域の倍近くありました。一方、「不満」「非常に不満」と答えた世帯の比率が比較的高かった項目は、「高校の数」が25.4%、「文化・芸術施設の充実や施設設備」が24.7%、「講演会等の文化・芸術イベントの回数」が23.4%でした。また、「学習塾」の数、設備、内容等に対する満足度が低いことがわかります。

20 現在の水俣市周辺の雇用の状況について、どのような印象をお持ちですか？



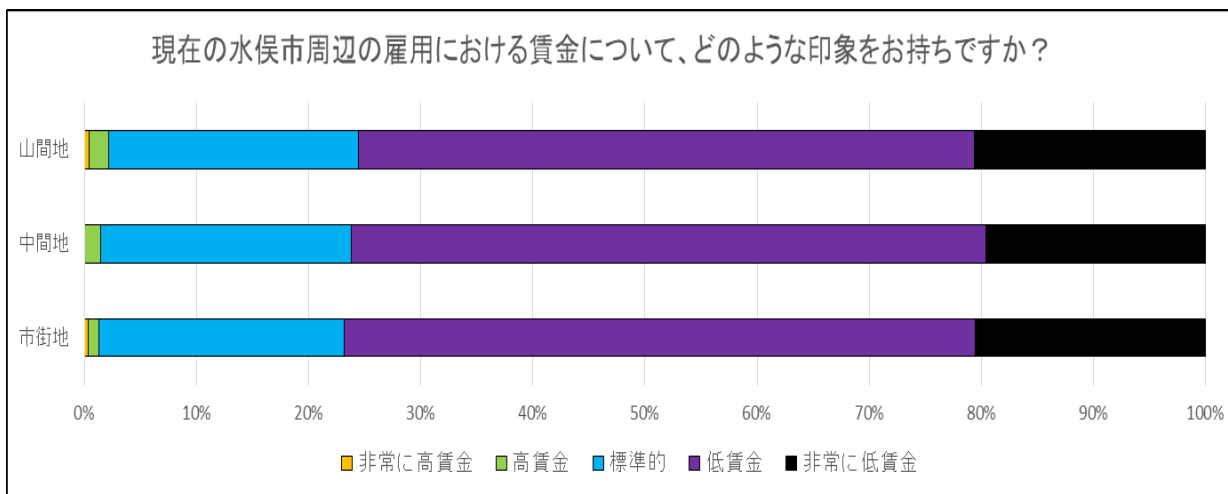
「雇用が不足している」「雇用が非常に不足している」と答えた世帯が68.1%あり、多くの市民が、雇用が不足していると感じているという結果でした。

21 現在の水俣市周辺の経済の動きについて、どのような印象をお持ちですか？



「下向きである」「非常に下向きである」と答えた世帯が60.6%あり、多くの世帯が、経済の動きが下向きであると感じているという結果でした。

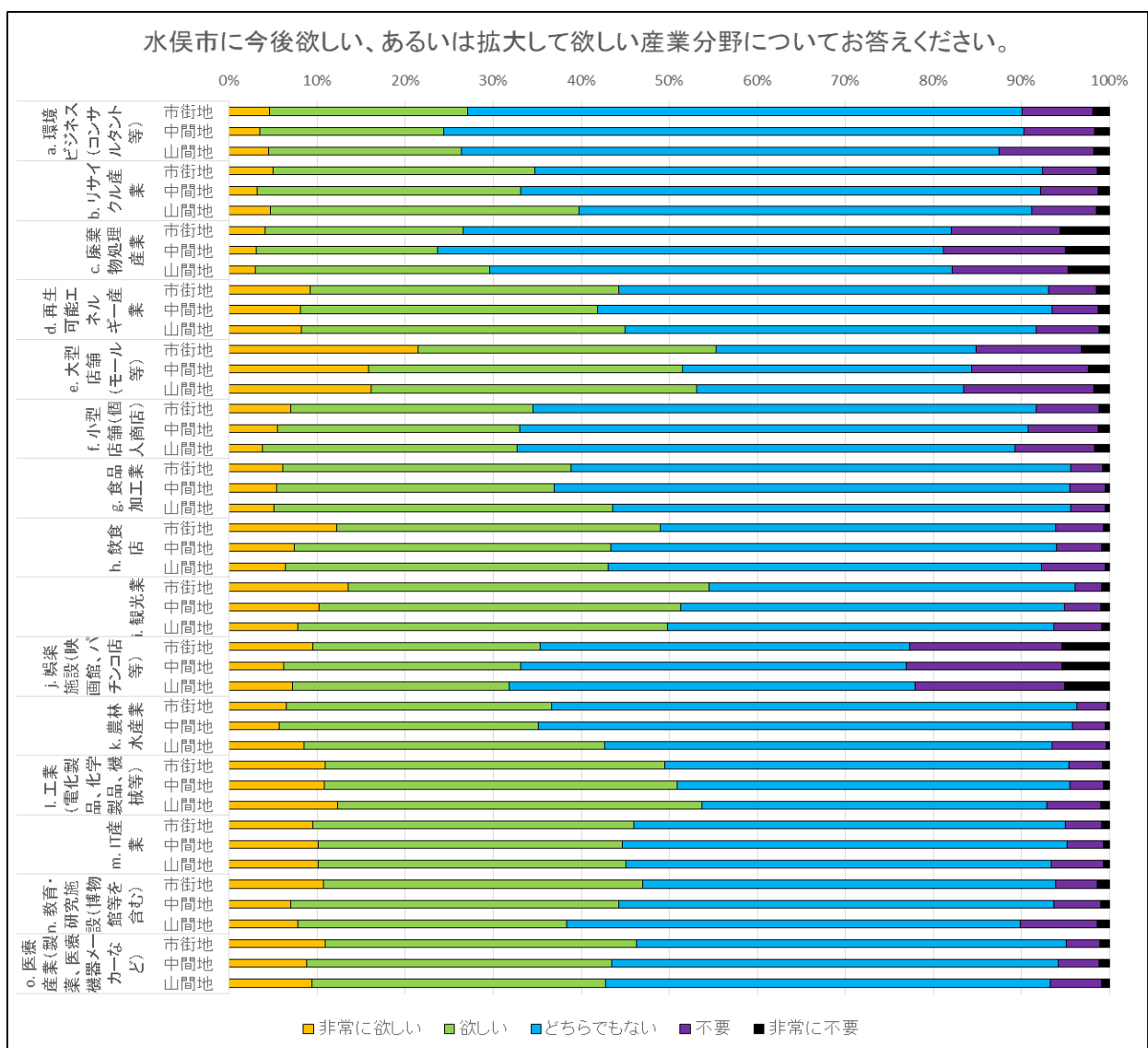
22 現在の水俣市周辺の雇用における賃金について、どのような印象をお持ちですか？



「低賃金」「非常に低賃金」と答えた世帯が全体で76.5%あり、多くの世帯が、水俣市周辺の雇用における賃金が低いと感じているという結果でした。

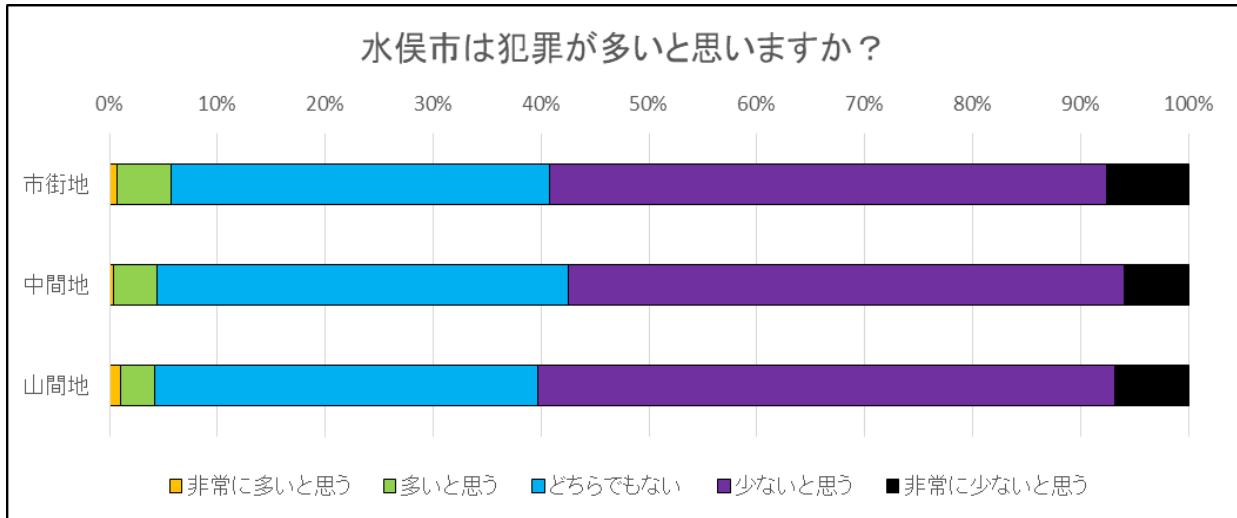
23 水俣市に今後欲しい、あるいは拡大して欲しい産業分野についてお答えください。

- a. 環境ビジネス(コンサルタント等)
- b. リサイクル産業
- c. 廃棄物処理産業
- d. 再生可能エネルギー産業
- e. 大型店舗(モール等)
- f. 小型店舗(個人商店)
- g. 食品加工業
- h. 飲食店
- i. 観光業
- j. 娯楽施設(映画館、パチンコ店等)
- k. 農林水産業
- l. 工業(電化製品、化学製品、機械等)
- m. IT産業
- n. 教育・研究施設(博物館等を含む)
- o. 医療産業(製薬、医療機器メーカーなど)



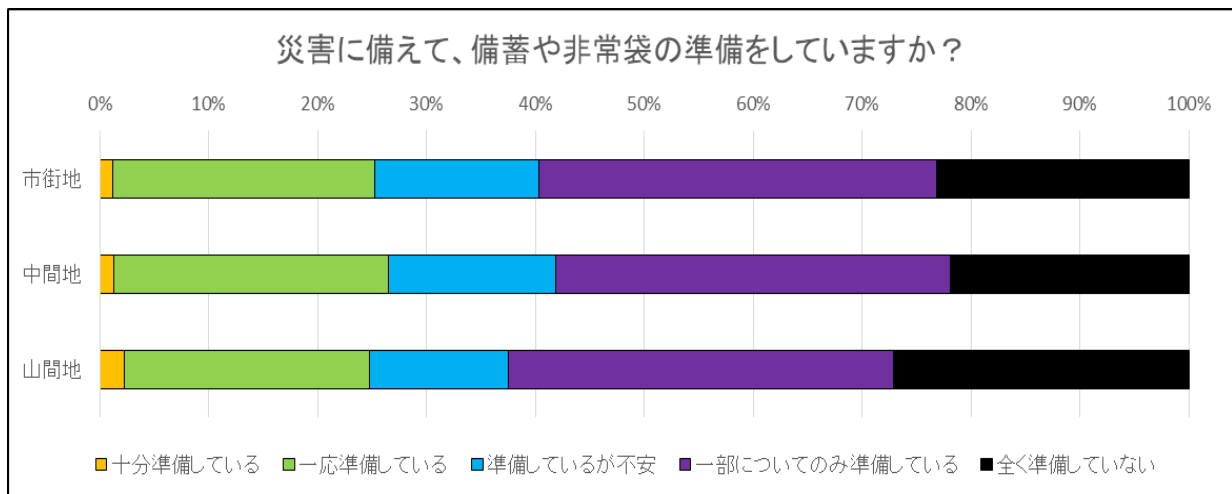
「非常に欲しい」「欲しい」と答えた世帯が多かったのは、「大型店舗(モール等)」が54%、「不要」「非常に不要」は15.5%、「観光業」が53%、「工業(電化製品、化学製品、機械等)」が50.5%という結果でした。一方、「不要」「非常に不要」と答えた世帯が比較的多かった項目は、「娯楽施設(映画館、パチンコ店等)」が22.7%、「廃棄物処理産業」が18.2%でした。また、「どちらでもない」と答えた世帯が最も多かったのは「環境ビジネス(コンサルタント等)」で63.4%でした。ほとんどの項目で、「不要」「非常に不要」と答えた世帯の比率は低く、一定の要望があることがうかがえます。

24 水俣市は犯罪が多いと思いますか？



約60%の世帯が、水俣市は犯罪が「少ない」「非常に少ない」と思っているという結果でした。

25 災害に備えて、備蓄や非常袋の準備をしていますか？

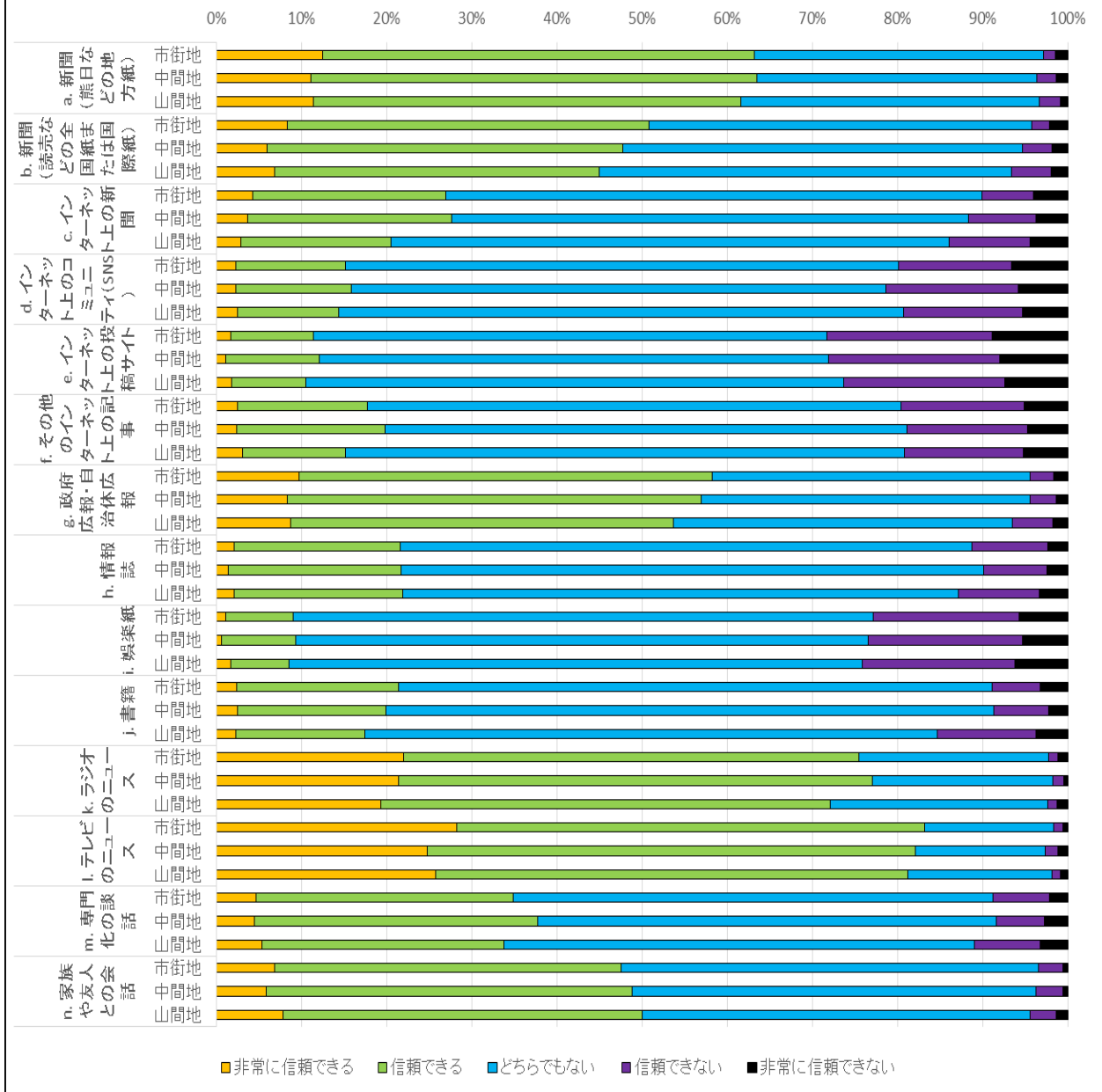


全体で見ると、「十分準備している」「一応準備している」と答えた世帯が25.5%、「準備しているが不安」と答えた世帯が59.8%、「一部についてのみ準備している」世帯が36.2%、「全く準備していない」世帯が23.6%という結果で、70%以上の世帯が何らかの準備をしていることがわかります。

26 災害時にどのような情報を信頼しますか？ 各メディアの信頼度をお答えください。

- 新聞(熊日などの地方紙)
- 新聞(読売などの全国紙または国際紙)
- インターネット上の新聞
- インターネット上のコミュニティ(SNS)
- インターネット上の投稿サイト
- その他のインターネット上の記事
- 政府広報・自治体広報
- 情報誌
- 娯楽紙
- 書籍
- ラジオのニュース
- テレビのニュース
- 専門家の談話
- 家族や友人との会話

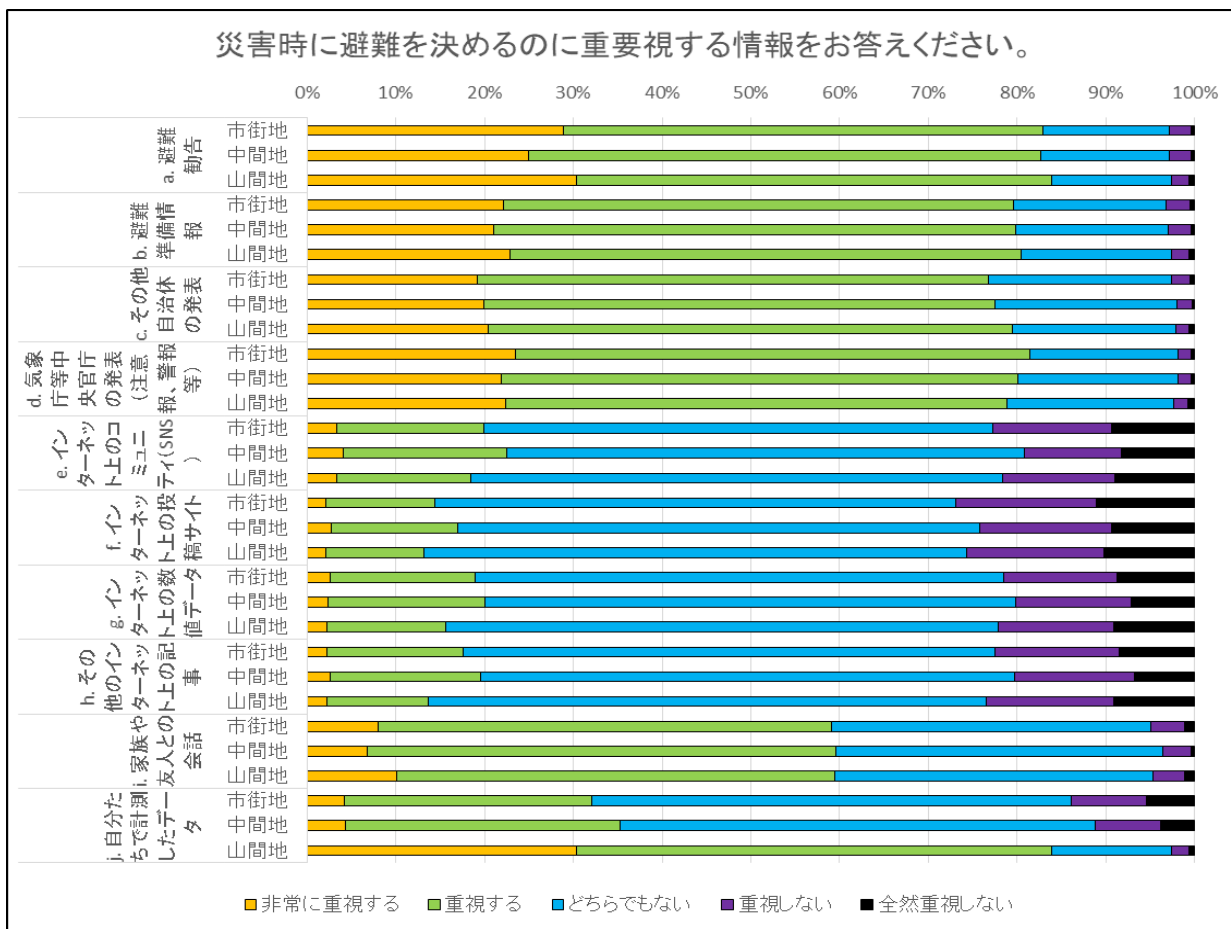
災害時にどのような情報を信頼しますか？ 各メディアの信頼度をお答えください。



「非常に信頼できる」「信頼できる」と答えた世帯が多かった項目は、「テレビのニュース」が82.6%、「ラジオのニュース」が75.3%、「新聞(地方紙)」が63%でした。一方、「信頼できない」「非常に信頼できない」と答えた世帯が比較的多かった項目は、「インターネット上の投稿サイト」が27.9%、「娯楽誌」が23.2%、「インターネット上のコミュニティ(SNS)」が20.2%、「その他のインターネット上の記事」が19.4%という結果であり、インターネット関係の情報に対する信頼度が低いことがうかがえます。

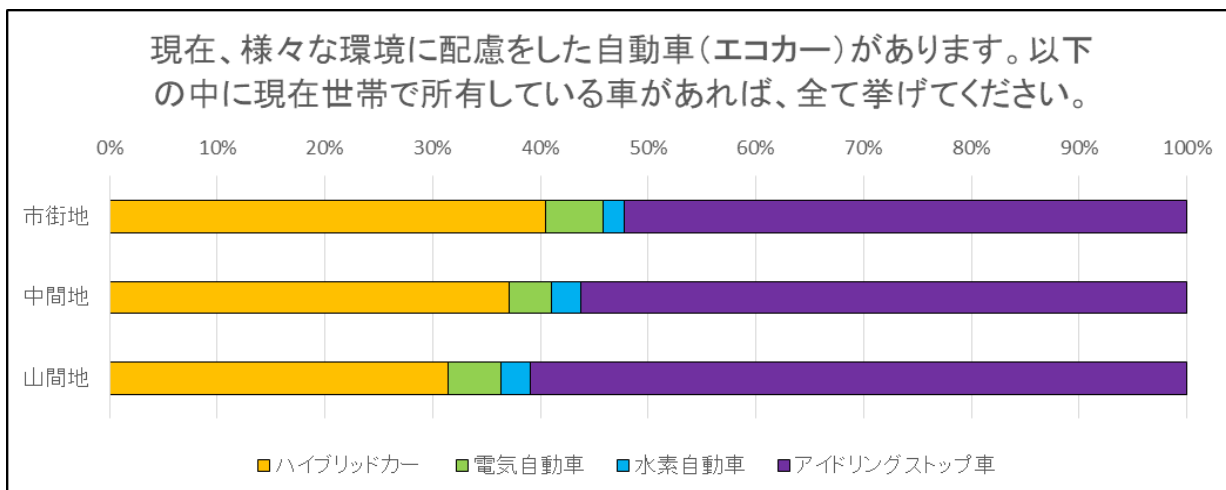
27 災害時に避難を決めるのに重要視する情報をお答えください。

- 避難勧告
- 避難準備情報
- その他自治体の発表
- 気象庁等中央官庁の発表(注意報、警報等)
- インターネット上のコミュニティ(SNS)
- インターネット上の投稿サイト
- インターネット上の数値データ
- その他のインターネット上の記事
- 家族や友人との会話
- 自分たちで計測したデータ



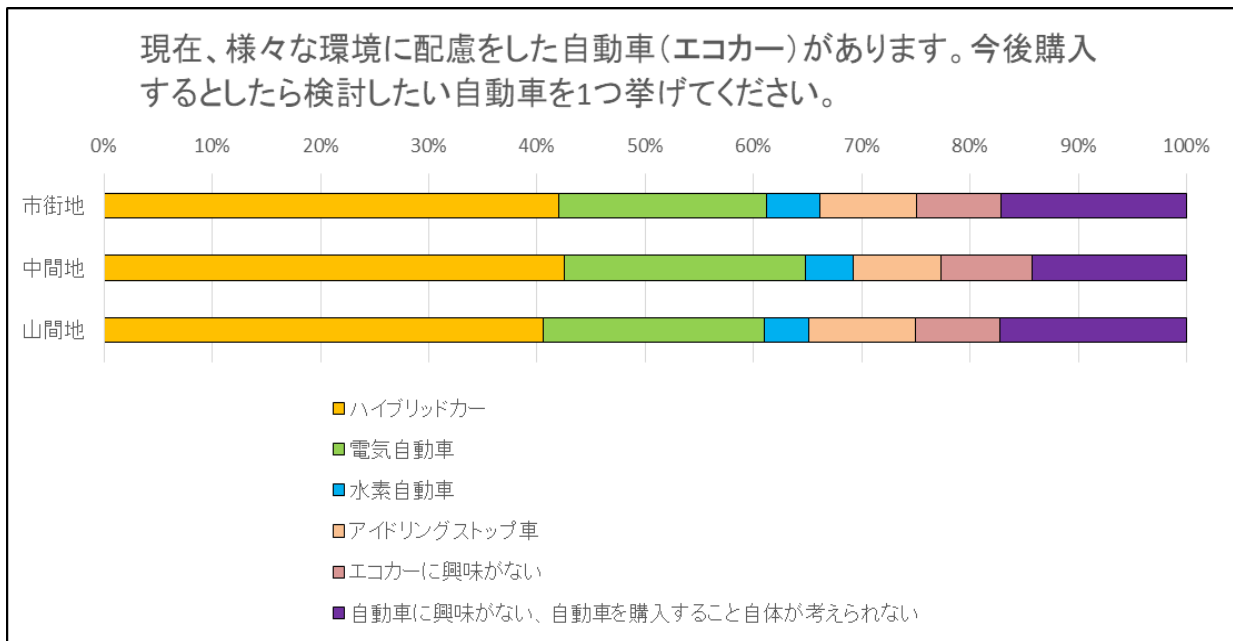
災害時に避難を決める情報として「非常に重視する」「重視する」と答えた世帯が多かった項目は、「避難勧告」が83%、「気象庁等中央官庁の発表(注意報、警報等)」が80.6%、「避難準備情報」が79.8%、「その他自治体の発表」が77.4%でした。一方、「重視しない」「全然重視しない」と答えた世帯が比較的多かった項目は、インターネット関係の情報で、いずれも20%台という結果でした。全体的に、行政情報を重視している世帯が多いことがわかります。また、「自分たちで計測したデータ」を重視すると答えた世帯の比率が、山間地で圧倒的に高いことがわかります。

28 現在、様々な環境に配慮をした自動車(エコカー)があります。以下の中に現在世帯で所有している車があれば、全て挙げてください。



多い順に、「アイドリングストップ車」「ハイブリッドカー」「電気自動車」「水素自動車」となり、ハイブリッドカーは市街地の方が比率が高く、アイドリングストップ車は山間地の方が比率が高いという結果でした。

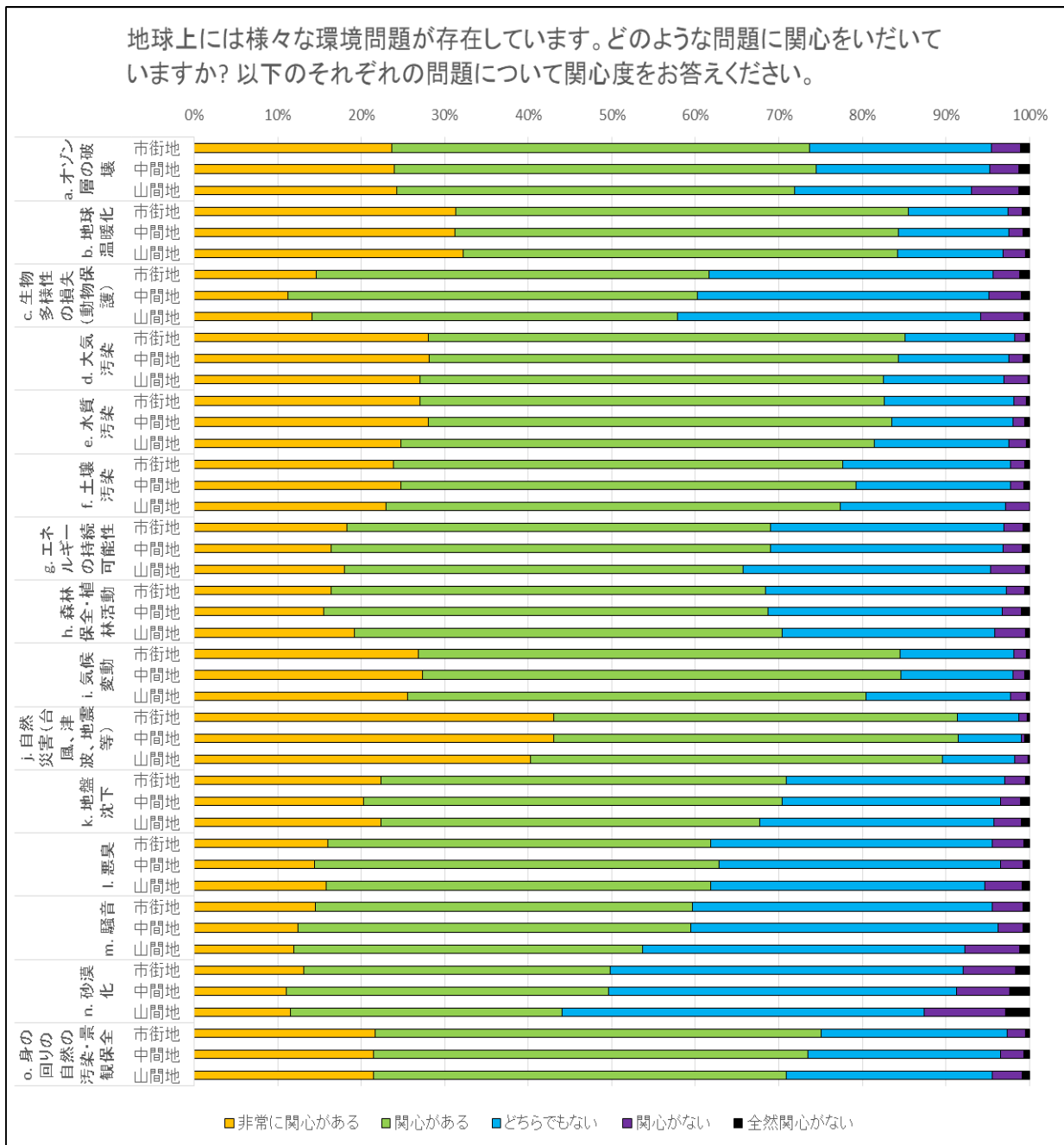
- 29 現在、様々な環境に配慮をした自動車(エコカー)があります。今後購入するとしたら検討したい自動車を1つ挙げてください。



購入意向で最も多かったのは「ハイブリッドカー」で、順に「電気自動車」「アイドリングストップ車」「水素自動車」という結果でした。一方、「エコカーに興味がない」「自動車に興味がない、自動車を購入すること自体が考えられない」と答えた世帯が全体の約25%でした。

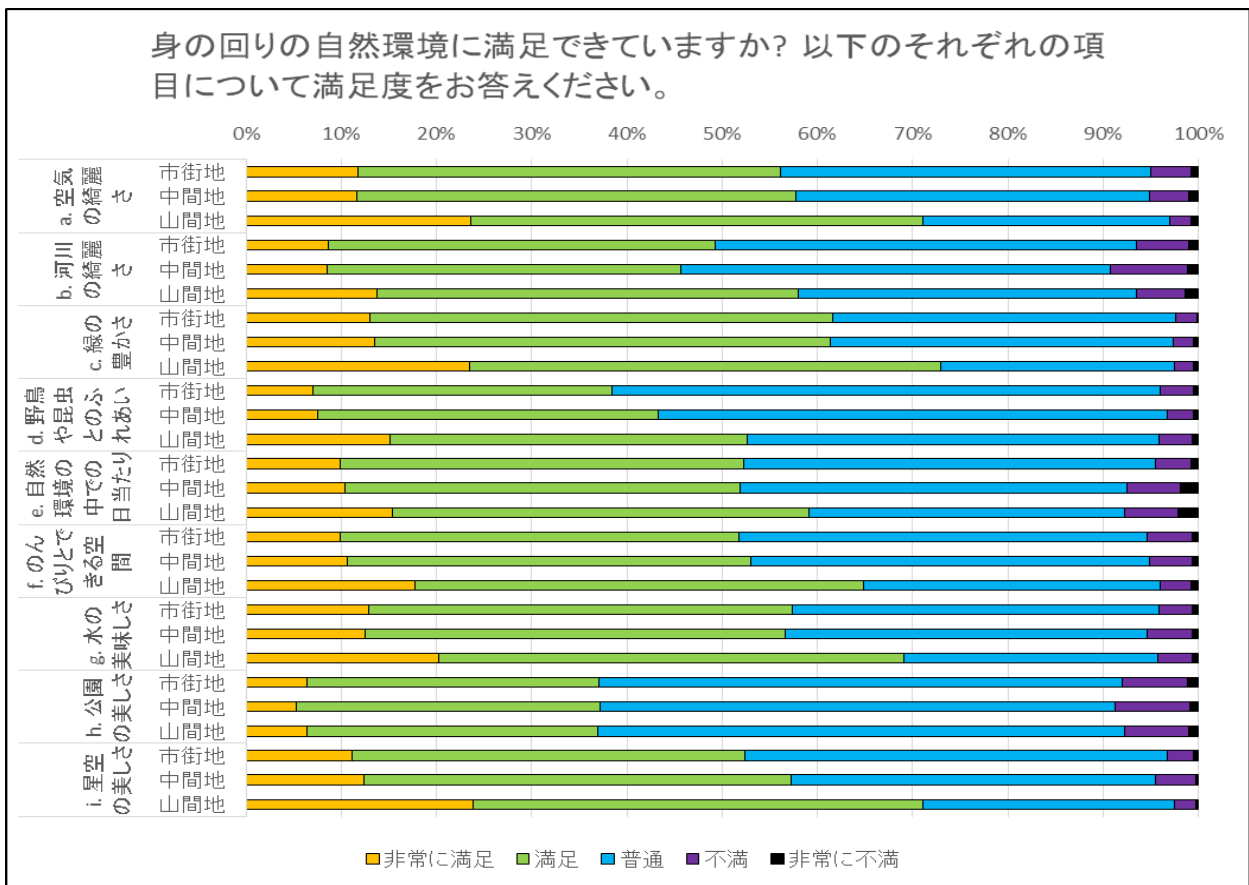
- 30 地球上には様々な環境問題が存在しています。どのような問題に関心をいただいていますか? 以下のそれぞれの問題について関心度をお答えください。

- a. オゾン層の破壊
- b. 地球温暖化
- c. 生物多様性の損失(動物保護)
- d. 大気汚染
- e. 水質汚染
- f. 土壌汚染
- g. エネルギーの持続可能性
- h. 森林保全・植林活動
- i. 気候変動
- j. 自然災害(台風、津波、地震等)
- k. 地盤沈下
- l. 悪臭
- m. 騒音
- n. 砂漠化
- o. 身の回りの自然の汚染・景観保全



「非常に興味がある」「興味がある」と答えた世帯が多かった項目は、「自然災害(台風、津波、地震等)」が91.1%で最も多く、「地球温暖化」が85%、「大気汚染」が84.5%と続き、その他の項目も全体的に関心が高いという結果でした。

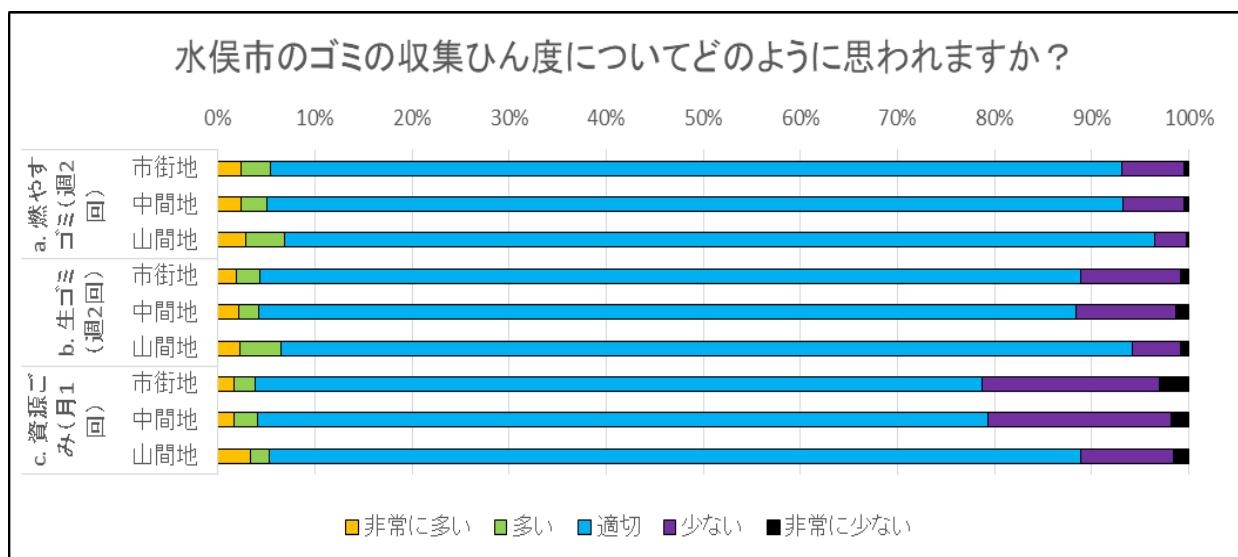
- 31 身の回りの自然環境に満足できていますか？以下のそれぞれの項目について満足度をお答えください。
- 空気の綺麗さ
 - 河川の綺麗さ
 - 緑の豊かさ
 - 野鳥や昆虫とのふれあい
 - 自然環境の中での日当たり
 - のんびりとできる空間
 - 水の美味しさ
 - 公園の美しさ
 - 星空の美しさ



「非常に満足」「満足」と答えた世帯が多かった項目は、「緑の豊かさ」が全体の63.5%と最も多く、「水の美しさ」が59.2%、「空気の綺麗さ」が59.1%でした。また、山間地の方が他の地域に比べ、より自然環境に対する満足度が高いことがわかります。

32 水俣市のゴミの収集ひん度についてどのように思われますか？

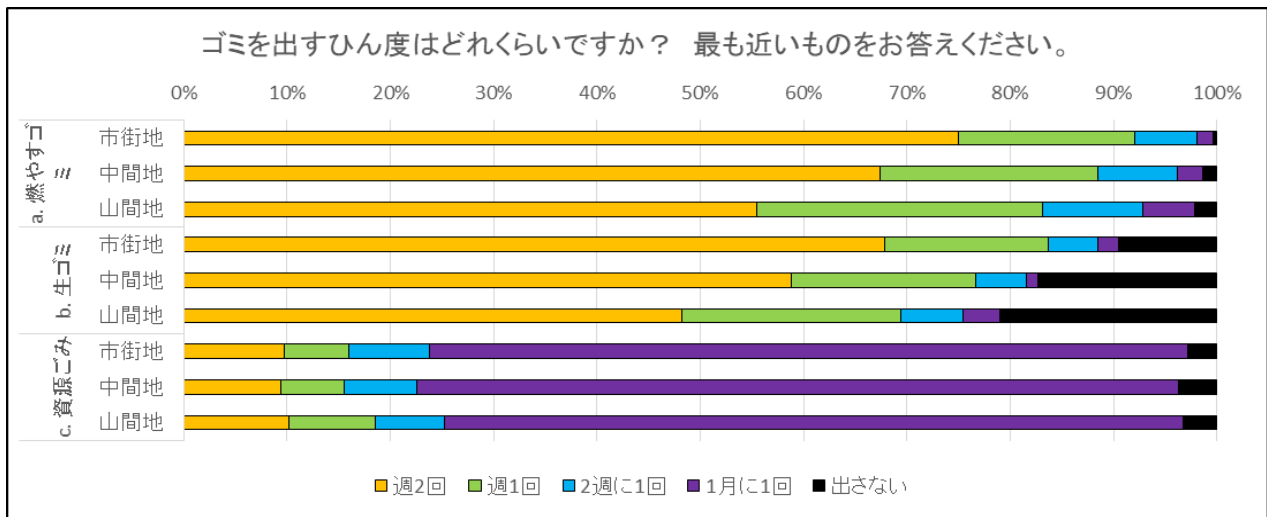
- a. 燃やすゴミ(週2回)
- b. 生ゴミ(週2回)
- c. 資源ごみ(月1回)



いずれの項目(ごみの種類)でも「適切」と答えた世帯が最も多くありました。また、山間地に比べ、市街地と中間地では、ゴミの収集ひん度が「少ない」「非常に少ない」と答えた世帯の比率が高い(山間地の約2倍)結果となりました。

33 ゴミを出すひん度はどれくらいですか？ 最も近いものをお答えください。

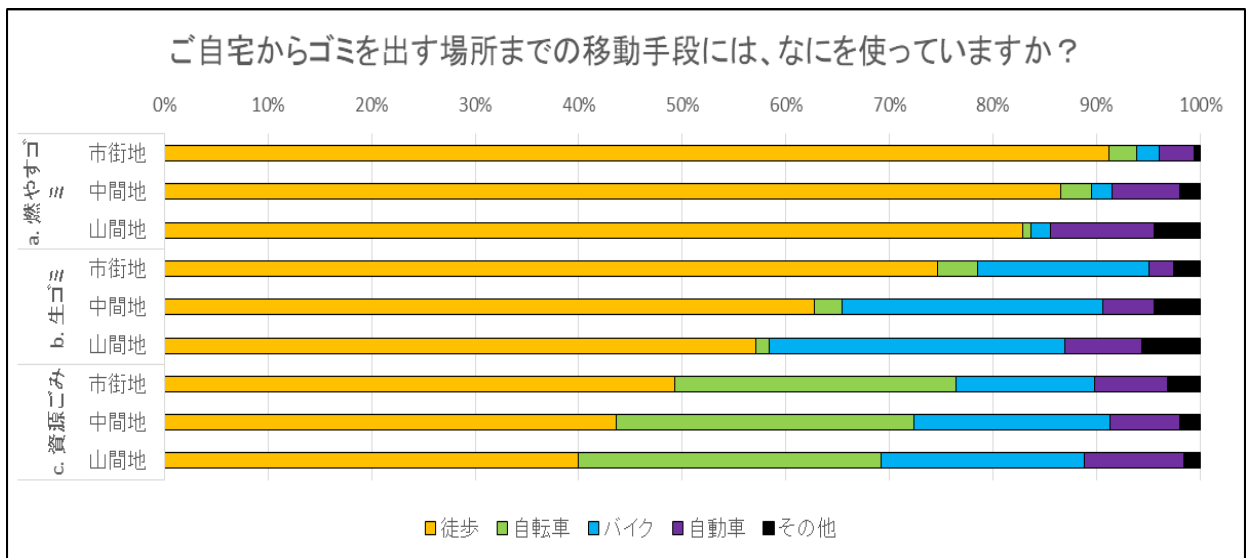
- a. 燃やすゴミ
- b. 生ゴミ
- c. 資源ごみ



「燃やすゴミ」と「生ゴミ」では「週2回」と答えた世帯が最も多く、「資源ごみ」では「1月に1回」が最も多い結果でした。「燃やすゴミ」と「生ゴミ」では、山間地に行くほどゴミ出しのひん度が低くなり、山間地では、「生ゴミ」を出さない世帯も20%近くありました。

34 ご自宅からゴミを出す場所までの移動手段には、なにを使っていますか？

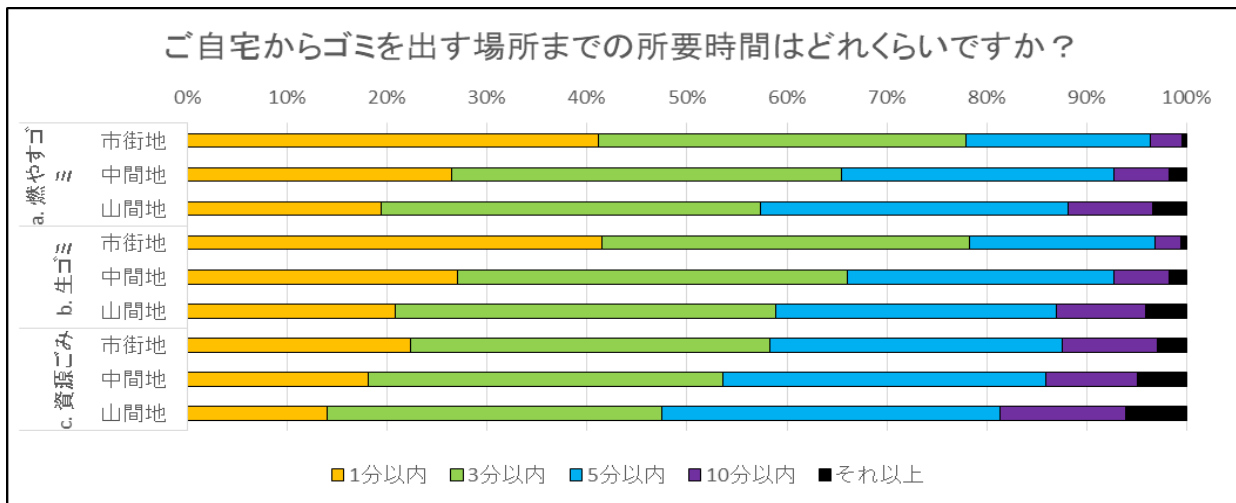
- a. 燃やすゴミ
- b. 生ゴミ
- c. 資源ごみ



いずれの項目(ごみの種類)でも、「徒歩」の比率が最も高い結果でしたが、山間地に行くほど徒歩以外の移動手段でゴミを出しに行く世帯が多い結果となりました。

35 ご自宅からゴミを出す場所までの所要時間はどれくらいですか？

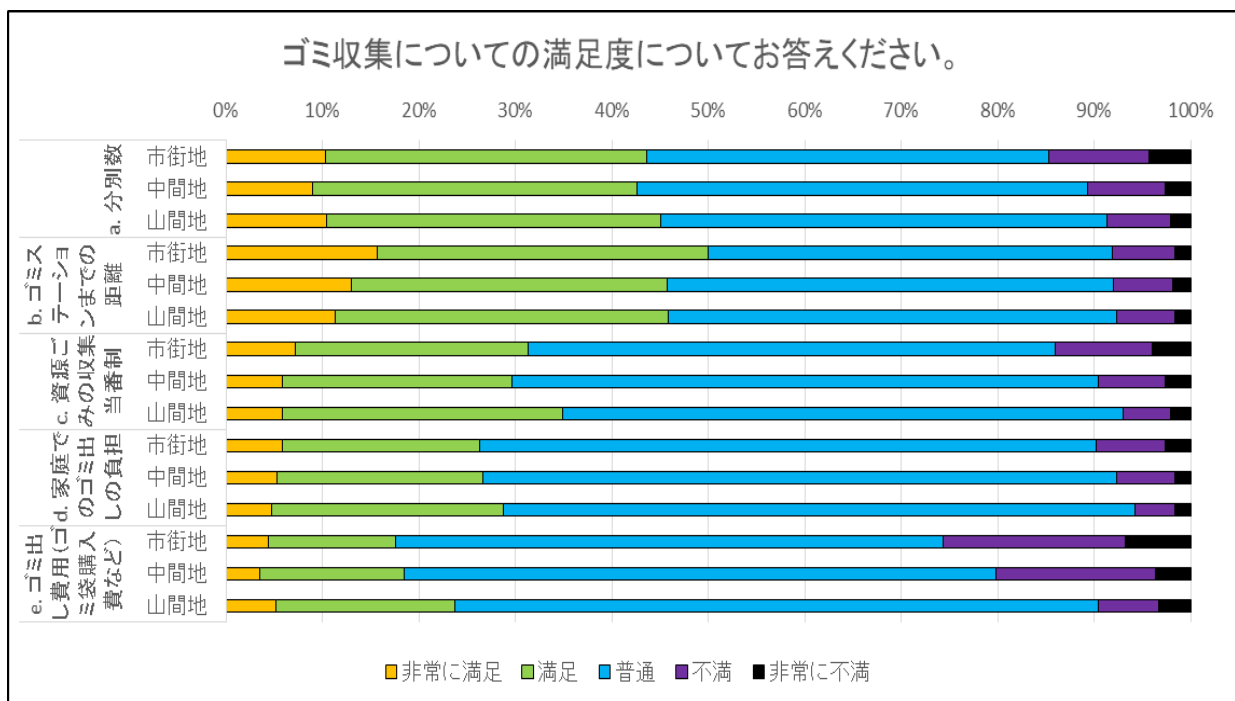
- a. 燃やすゴミ
- b. 生ゴミ
- c. 資源ごみ



いずれの項目(ごみの種類)でも、おおむね5分以内で最寄りのごみステーションに行けるという結果でしたが、山間地に行くほど、より時間のかかる世帯が多いことがわかります。

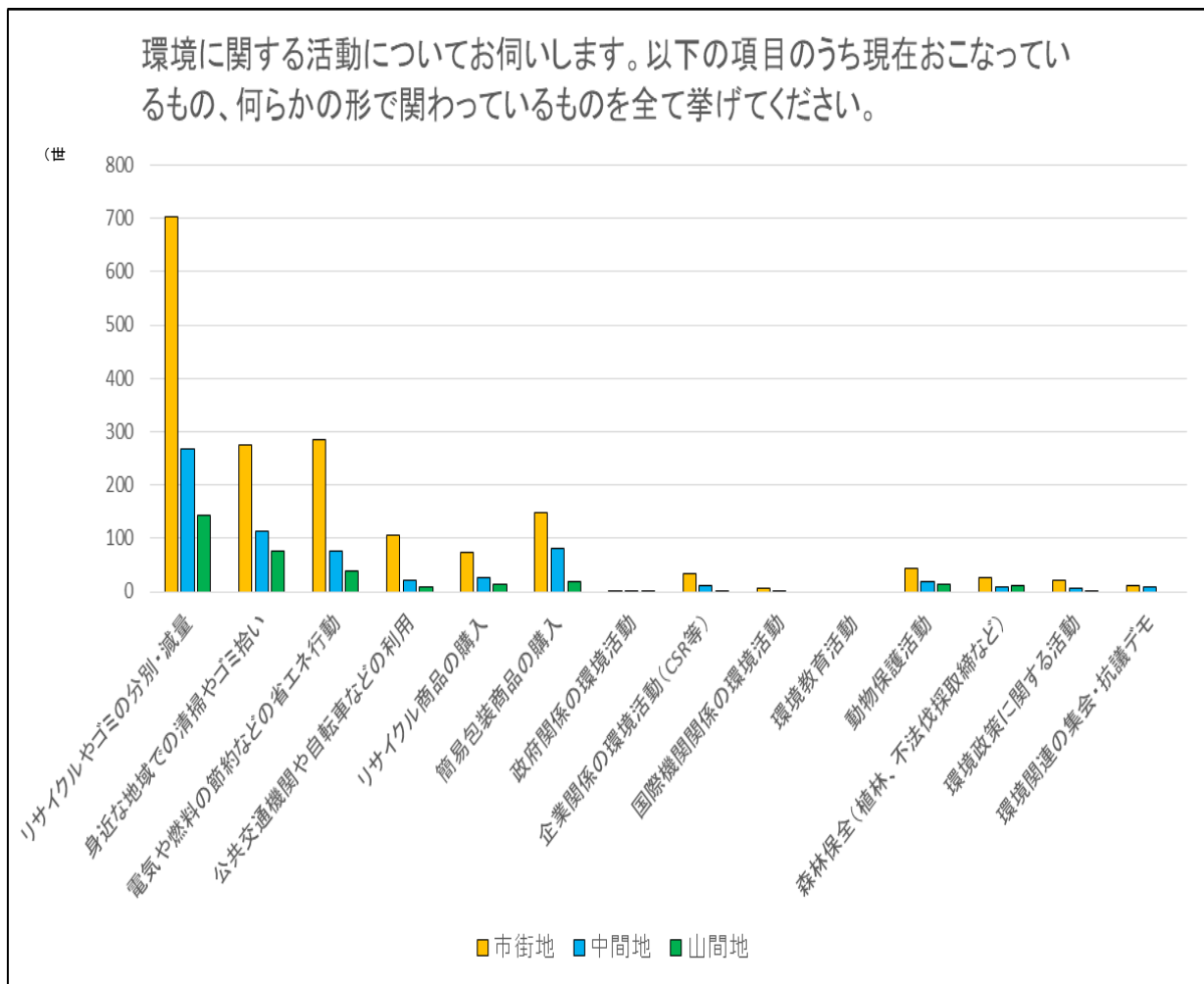
36 ゴミ収集についての満足度についてお答えください。

- a. 分別数
- b. ゴミステーションまでの距離
- c. 資源ごみの収集当番制
- d. 家庭でのゴミ出しの負担
- e. ゴミ出し費用(ゴミ袋購入費など)



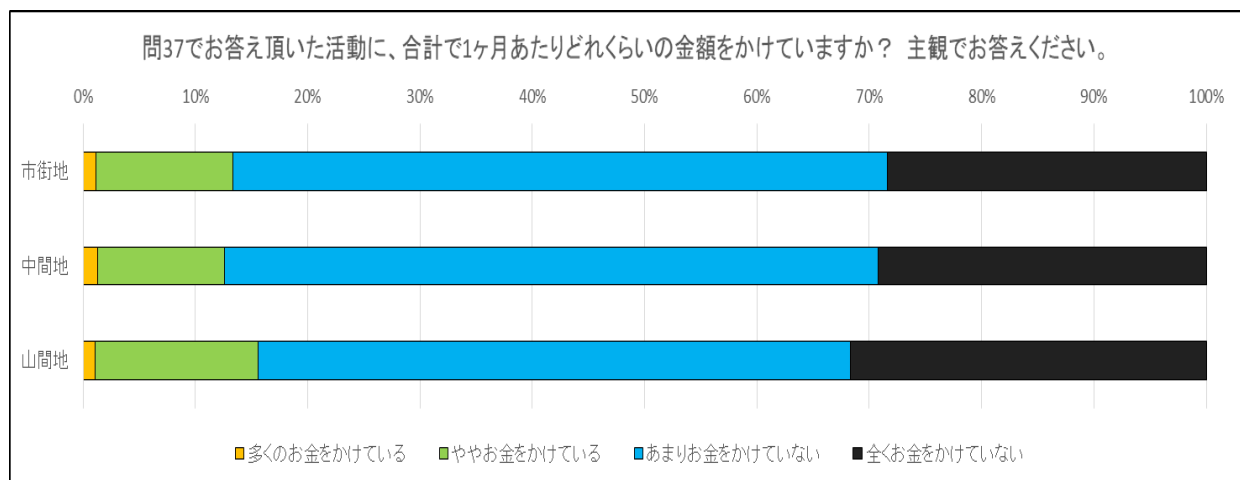
「分別数」では、「非常に満足」「満足」と答えた世帯と「普通」と答えた世帯が同じ比率でした。
 「ゴミステーションまでの距離」では、「非常に満足」「満足」が48.2%、「普通」が43.8%でした。
 「資源ごみの収集当番制」では、「普通」が56.8%、「非常に満足」「満足」と答えた世帯が31.5%でした。
 「家庭でのゴミ出しの負担」では、「普通」が64.7%、「非常に満足」「満足」と答えた世帯が26.8%でした。
 「ゴミ出し費用(ゴミ袋購入費など)」では、「普通」が59.5%、「不満」「非常に不満」と答えた世帯が21.6%という結果で、市街地と中間地で「不満」と答えた世帯の比率が比較的高い結果でした。

37 環境に関する活動についてお伺いします。以下の項目のうち現在おこなっているもの、何らかの形で関わっているものを全て挙げてください。



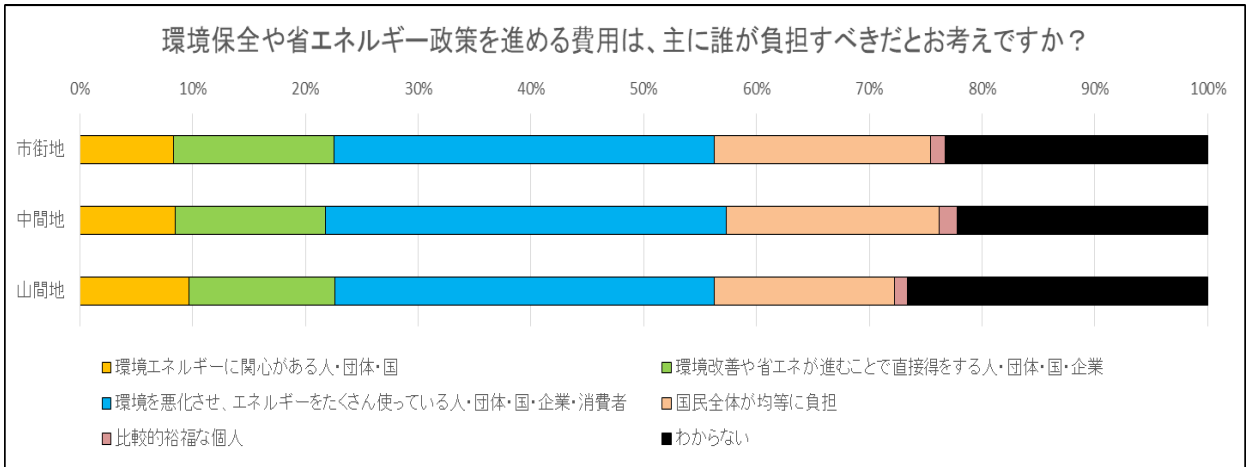
「リサイクルやゴミの分別・減量」「身近な地域での清掃やゴミ拾い」「電気や燃料の節約などの省エネ行動」「簡易包装商品の購入」を行っている又は何らかの形で関わっていると答えた世帯が多い結果となりました。

38 問37でお答え頂いた活動に、合計で1ヶ月あたりどれくらいの金額をかけていますか？ 主観でお答えください。



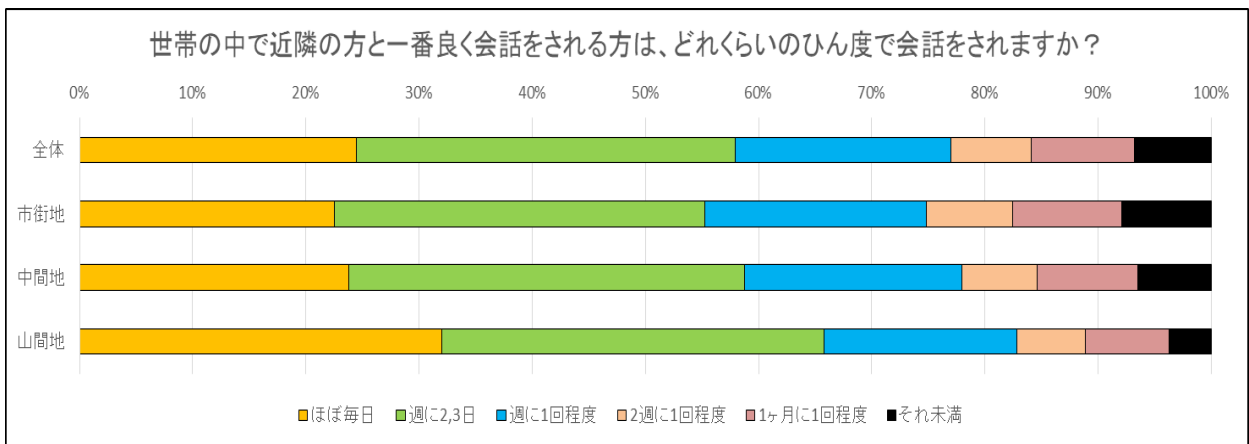
80%以上の世帯が「あまりお金をかけていない」「全くお金をかけていない」という結果でした。

39 環境保全や省エネルギー政策を進める費用は、主に誰が負担すべきだとお考えですか？



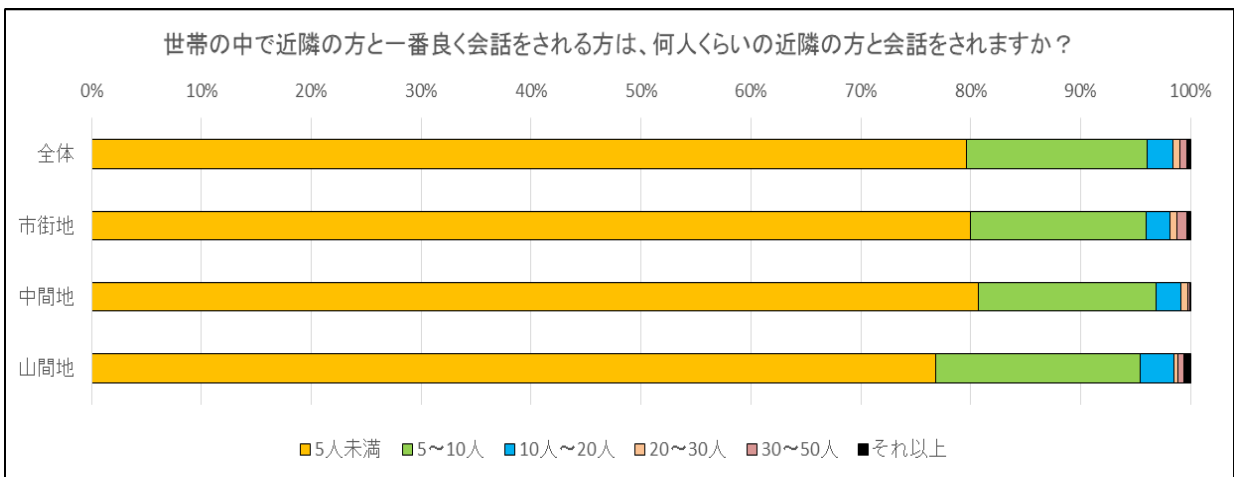
最も回答の比率が高かったのは「環境を悪化させ、エネルギーをたくさん使っている人・団体・国・企業・消費者」で、約35%でした。次に「わからない」が約24%、「国民全体が均等に負担」が約18%でした。

40 世帯の中で近隣の方と一番良く会話をされる方は、どれくらいのひん度で会話をされますか。



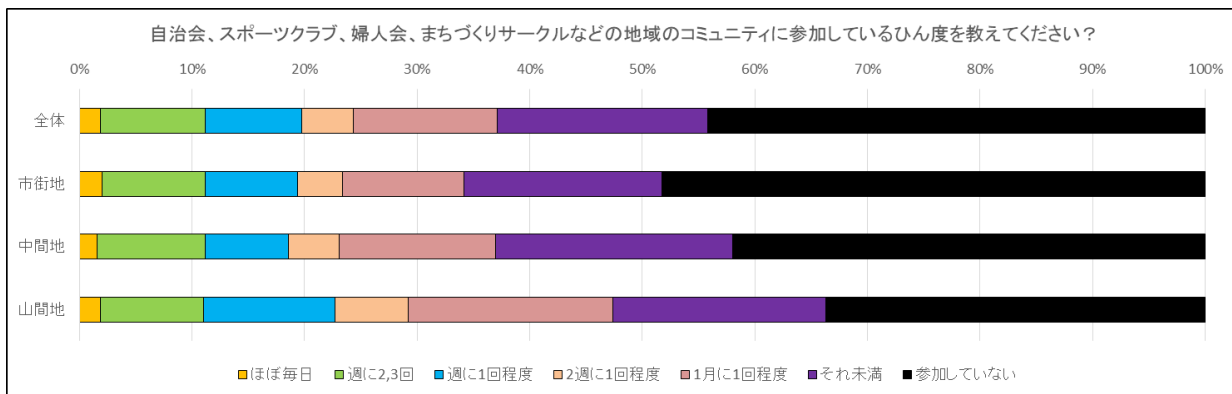
「週に2, 3回」と答えた世帯が全体の33.5%と最も多い結果となりました。山間地では「ほぼ毎日」と答えた世帯が32%あり、他の地域に比べて高い結果となりました。

41 世帯の中で近隣の方と一番良く会話をされる方は、何人くらいの近隣の方と会話をされますか



「5人未満」と答えた世帯が全体の79.6%で最も多い結果でした。

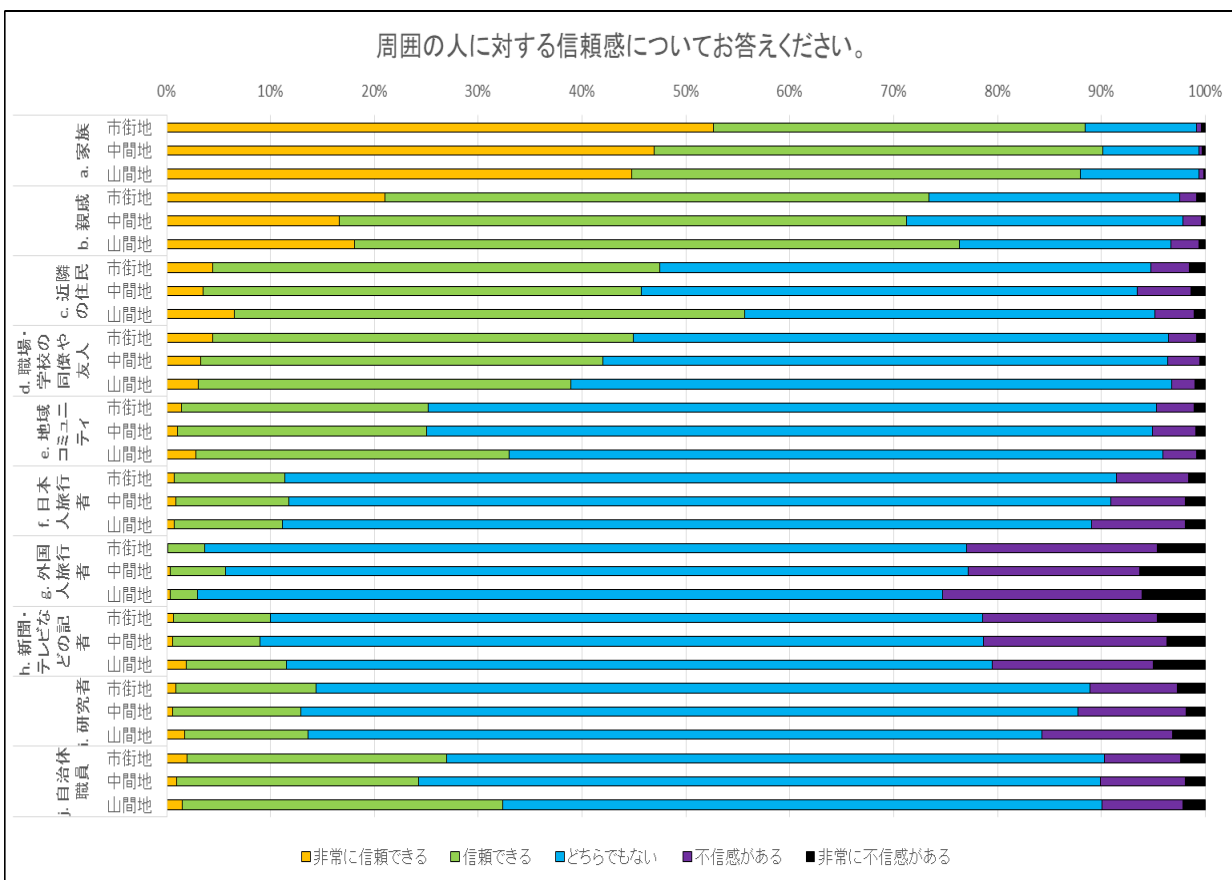
42 自治会、スポーツクラブ、婦人会、まちづくりサークルなどの地域のコミュニティに参加している
 ひん度を教えてください？



「参加していない」と答えた世帯が最も多く、全体の44.2%でした。次に「それ未満(1月に1回未満)」が全体の18.7%でした。地域別に比較すると、山間地に行くほど参加頻度が高いことがわかります。

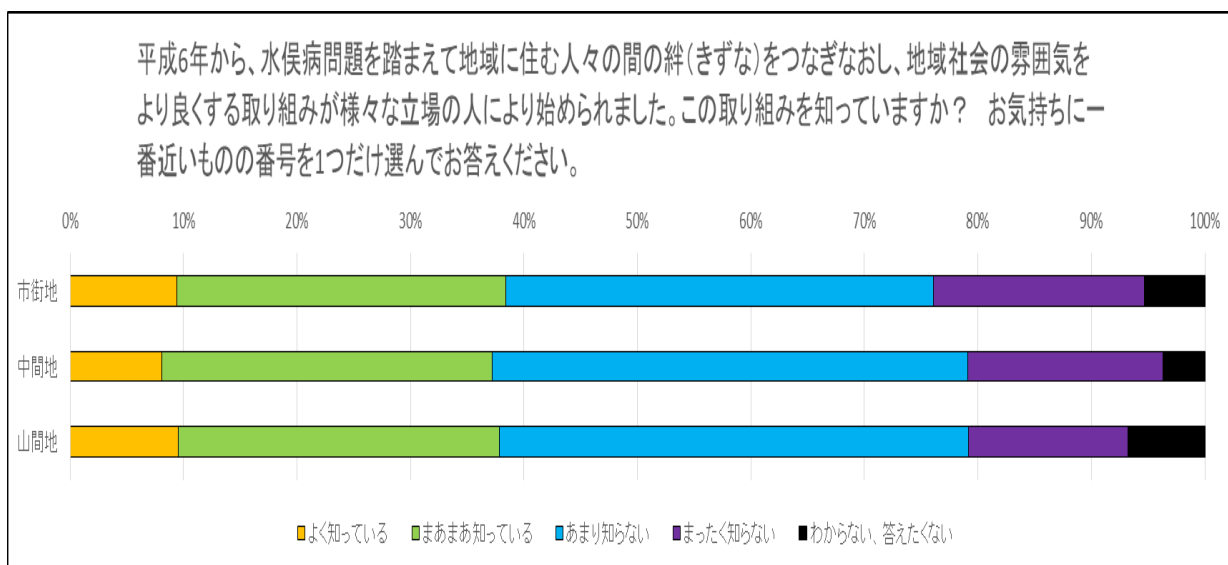
43 周囲の人に対する信頼感についてお答えください。

- a. 家族
- b. 親戚
- c. 近隣の住民
- d. 職場・学校の同僚や友人
- e. 地域コミュニティ
- f. 日本人旅行者
- g. 外国人旅行者
- h. 新聞・テレビなどの記者
- i. 研究者
- j. 自治体職員



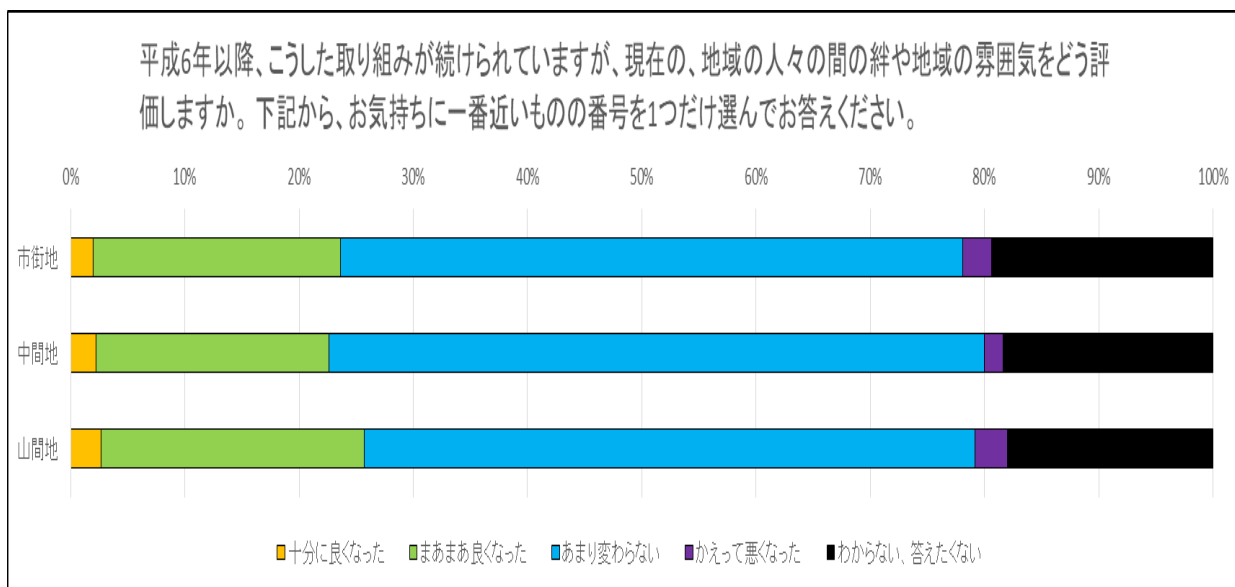
「非常に信頼できる」「信頼できる」と答えた世帯が最も多かったのは、「家族」で、全体の88.8%でした。次いで「親戚」が73.3%、「近隣の住民」が48.4%でした。一方、「不信感がある」「非常に不信感がある」と答えた世帯では、「外国人旅行者」と「新聞・テレビなどの記者」の比率が比較的高く20%台でした。また、「家族」「親戚」「近隣の住民」以外では、「どちらでもない」と答えた世帯が最も多い結果でした。

- 44 平成6年から、水俣病問題を踏まえて地域に住む人々との絆(きずな)をつなぎなおし、地域社会の雰囲気をより良くする取り組みが様々な立場の人により始められました。この取り組みを知っていますか？ お気持ちに一番近いものの番号を1つだけ選んでお答えください。



「よく知っている」「まあまあ知っている」と答えた世帯は、全体の38%でした。「あまり知らない」と答えた世帯は、全体の39.4%でした。「まったく知らない」「わからない、答えたくない」と答えた世帯は全体の22.6%でした。また、市街地のみ、「よく知っている」「まあまあ知っている」と答えた世帯が「あまり知らない」と答えた世帯よりも多い結果でした。

- 45 平成6年以降、こうした取り組みが続けられていますが、現在の、地域の人々との絆や地域の雰囲気をどう評価しますか。下記から、お気持ちに一番近いものの番号を1つだけ選んでお答えください。



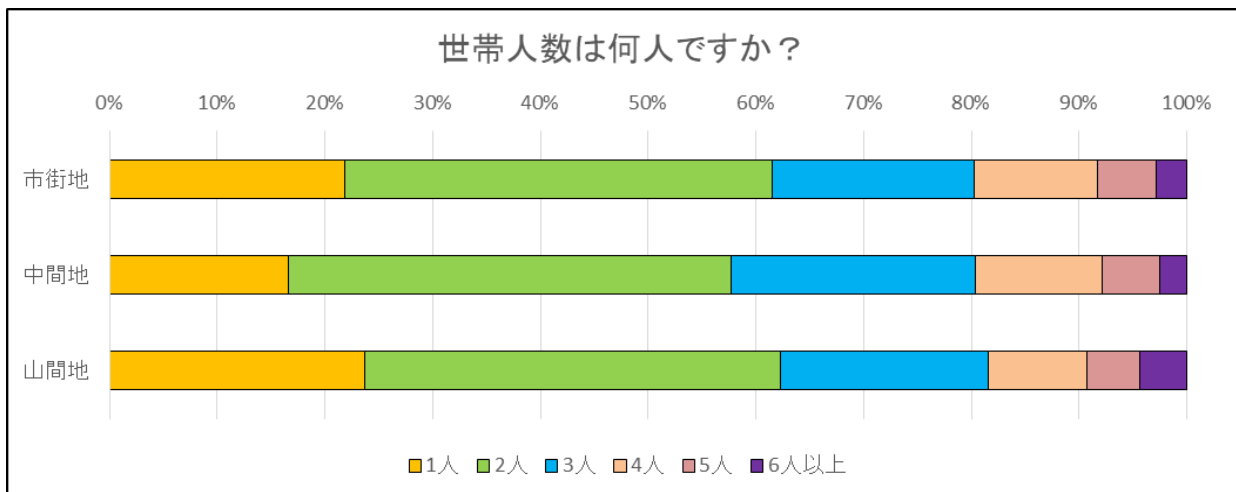
「あまり変わらない」と答えた世帯が最も多く、全体の55.1%でした。次いで「まあまあ良くなった」が21.6%、「わからない、答えたくない」が18.9%でした。

46 お住いの地域は何区ですか？

1区	610
2区	81
3区	190
4区	317
5区	272
6区	253
7区	131
8区	178
9区	94
10区	58
11区	60
12区	30
13区	59
14区	35
15区	137
16区	80
17区	300
18区	196
19区	160
20区	135
21区	343
22区	303
23区	83
24区	18
25区	59
26区	40

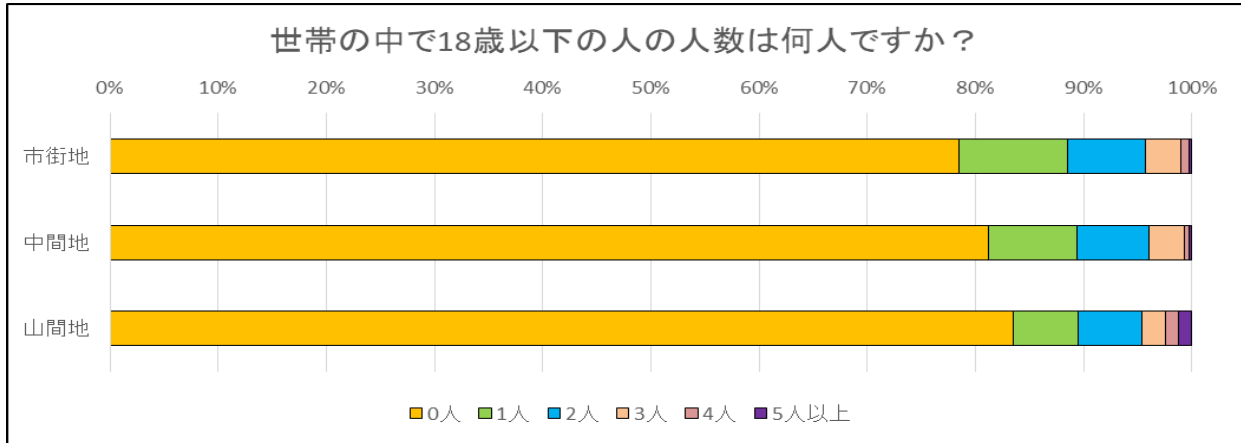
回答のあった4,222世帯中、1区が最も多く「610世帯」、次いで21区が「343世帯」、4区が「317世帯」、22区が「303世帯」、17区が「300世帯」でした。その他の地域については表のとおりでした。

47 世帯人数は何人ですか？



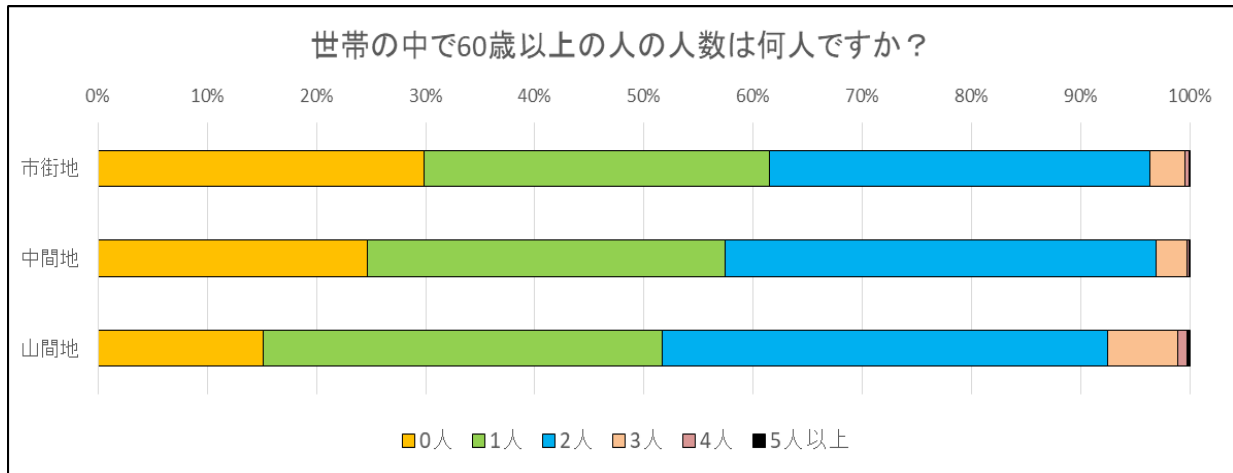
いずれの地域も「2人」世帯が最も多い結果でした。次に多かったのは、市街地と山間地では「1人」世帯、中間地では「3人」世帯でした。

48 世帯の中で18歳以下の人の人数は何人ですか？



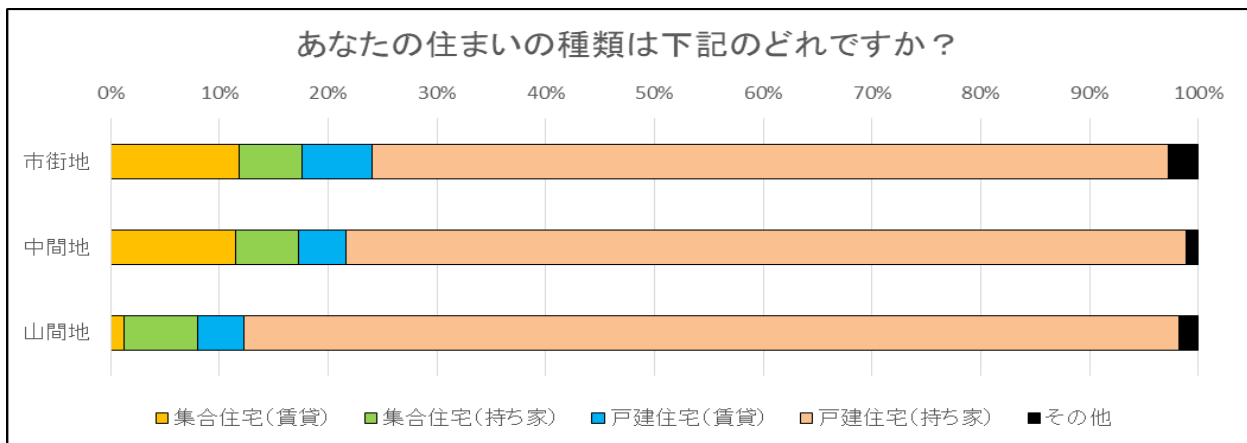
全体の約80%の世帯が、18歳以下の人の人数が「0人」という結果でした。次いで「1人」が約8%、「2人」が約7%でした。このことから、今回の調査に対する回答世帯の中で、18歳以下の人がない世帯が全体の約80%ということがわかります。

49 世帯の中で60歳以上の人の人数は何人ですか？



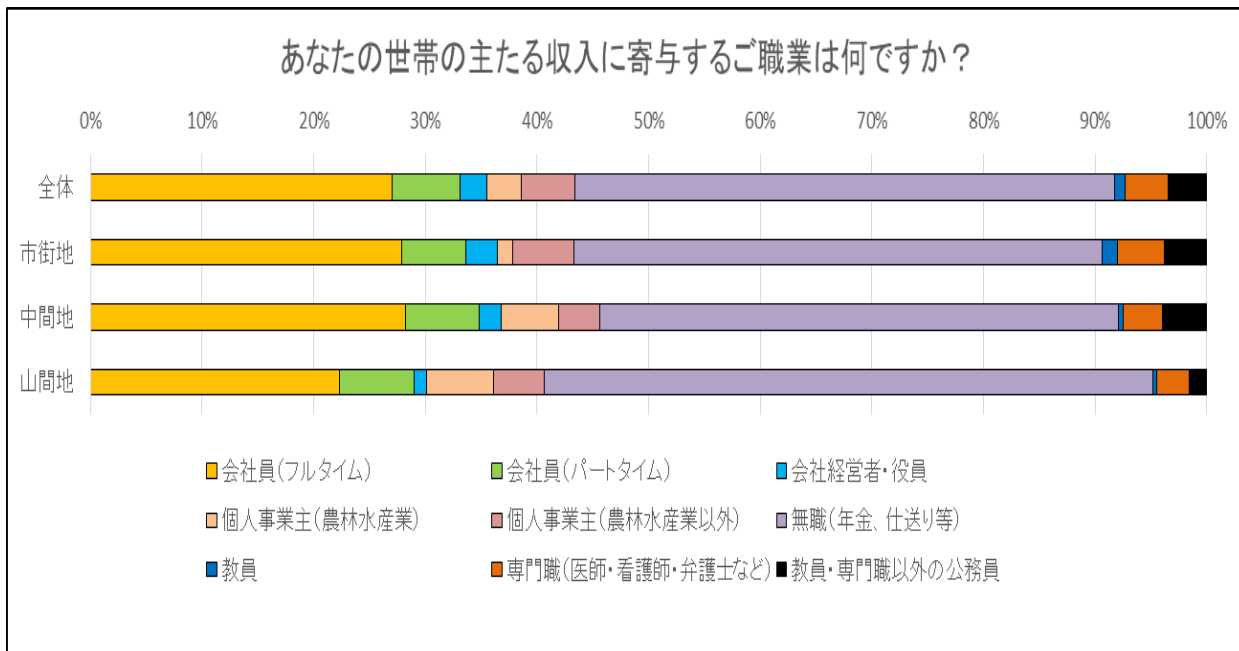
最も多かったのが「2人」で、全体の38.3%でした。次いで「1人」が33.6%、「0人」が23.2%でした。山間地に行くほど高齢化が進んでいることがわかります。また、今回の調査に対する回答世帯の中で、60歳以上の人がある世帯が、全体の約80%ということがわかります。

50 あなたの住まいの種類は下記のどれですか？



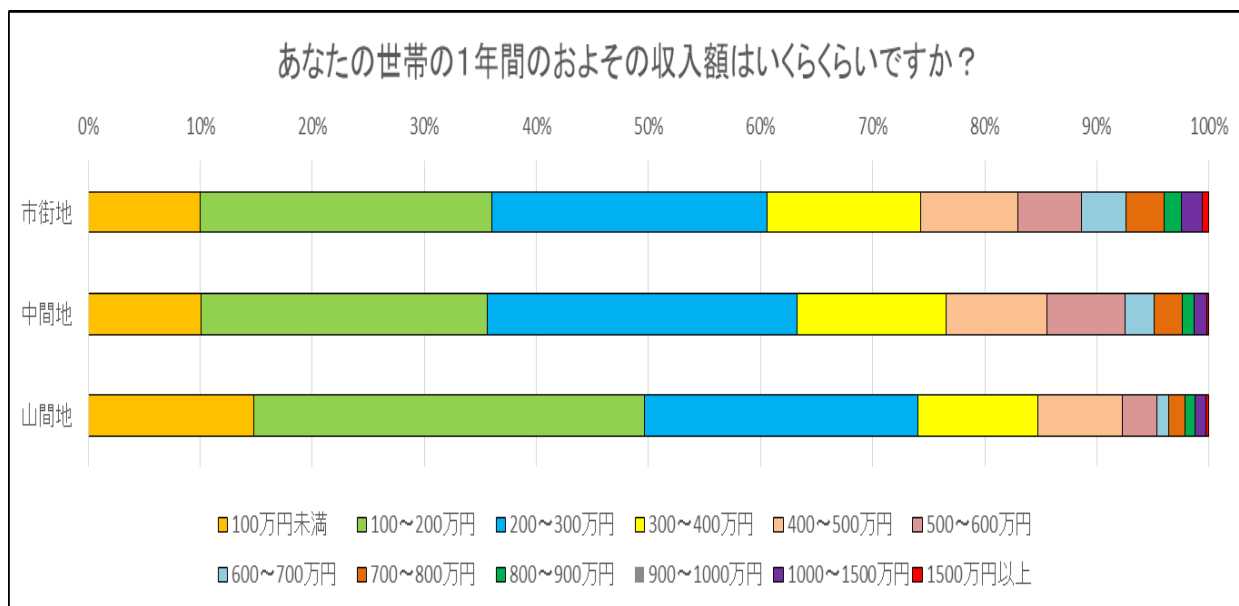
最も多かったのが「戸建住宅(持ち家)」で、全体の78.8%でした。特に、山間地では85.9%の世帯が「戸建住宅(持ち家)」という結果でした。

51 あなたの世帯の主たる収入に寄与するご職業は何ですか。



最も多かったのが「無職(年金、仕送り等)」で、全体の48.3%でした。次いで「会社員(フルタイム)」が27%、「会社員(パートタイム)」が6.1%でした。

52 あなたの世帯の1年間のおよその収入額はいくらくらいですか？



市街地で最も多かったのは、「100~200万円」で26%、次いで「200~300万円」が24.6%、「100万円未満」が10%でした。

中間地で最も多かったのは、「200~300万円」で27.7%、次いで「100~200万円」で25.5%、「100万円未満」が10.1%でした。

山間地で最も多かったのは、「100~200万円」で34.8%、次いで「200~300万円」が24.4%、「100万円未満」が14.8%でした。